

ハンドボール
競技規則
問題集



2016年版



(公財) 日本ハンドボール協会

1. 7 m スローの開始の合図の後、防御側 A チームのゴールキーパーの片足がゴールキーパーラインに触れた。投げたボールはクロスバーの上を越えていった。
 - (a) 笛の合図の後に 7 m スローを再度実施する。
 - (b) 得点ではないので、ゴールキーパーズローにより競技を続行する。
 - (c) ゴールキーパーの位置取りは正しい。

2. ゴールポスト間のゴールラインの幅はどれが正しいか。
 - (a) 5 cm
 - (b) 6 cm
 - (c) 8 cm
 - (d) 10 cm

3. 競技の終了直前に、攻撃側プレーヤー B2 が相手のゴールエリアライン際でボールをキャッチしてシュートを打とうとしたが、違反により妨害された。B2 がボールを手から離す前に、競技の終了合図の笛が鳴った。
 - (a) 競技の終了
 - (b) B チームのフリースロー
 - (c) B チームの 7 m スロー
 - (d) 競技の終了とし、記録用紙にその旨を記載

4. 前半の終了直前に A チームが 7 m スローを行った。A9 が 7 m スローで投げたボールはクロスバーにあたり、そしてゴールの手前およそ 3 m のところに立っていたゴールキーパーの背中にあたり、それから B チームのゴールの中へ入った。ボールがクロスバーからゴールキーパーの背中へと向かう途中に、タイムキーパーが前半の終了合図の笛を吹いた。
 - (a) 得点
 - (b) 7 m スローを再度実施
 - (c) 休憩時間 (判定なし)

5. 7 m スローコンテストを行う場合、使用するゴールを決定するのは誰か。
 - (a) コイントスに勝ったチーム
 - (b) コイントスに負けたチーム
 - (c) レフェリー
 - (d) 第 1 レフェリー

6. 前半の自動終了合図があった。すぐにレフェリーは、前半が 1 分早く終了したことに気づいた。
- (a) 後半を 1 分間延長する。
 - (b) この 1 分間を無効とし、補わない。
 - (c) 休憩時間の終了後に前半と同じサイドで 1 分間競技をさせ、それからサイドを交代して通常どおり後半を開始する。
 - (d) プレーヤーをコートにとどまらせ、残りの 1 分間競技をさせる。
7. A チームがシュートし、B チームのゴールキーパーがボールをキャッチした。ちょうどそのときに自動終了合図があったが、レフェリーは後半がまだ 30 秒残っていることをタイムキーパーに指摘した。すべてのプレーヤーはコート内に残っている。どのようにして競技を再開するか。
- (a) B チームのフリースロー
 - (b) ゴールキーパーズロー
 - (c) A チームのフリースロー
 - (d) 笛の合図の後に
 - (e) 笛の合図なしに
8. A11 は競技の開始直前に重傷を負ったため、プレーできなくなった。
- (a) A11 は交代できない。
 - (b) 相手チームが了承すれば、A11 は交代できる。
 - (c) A11 は交代できる。代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけてもよいが、記録用紙に記載した名前を変更しなければならない。
 - (d) A11 は交代できるが、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけられない。
9. 競技の開始時間になっても B チームは 5 名のコートプレーヤーしか到着しておらず、ゴールキーパーはいなかった。B チームはコートプレーヤー B5 をゴールキーパーとして指名した。プレーヤー B5 はその後どうなるか。
- (a) 正しく交代すれば、いつでも B5 はコートプレーヤーとして出場できる。
 - (b) もはや B5 はコートプレーヤーとして出場できない。
 - (c) A チームのチーム役員が了承すれば、B5 はコートプレーヤーとして出場できる。
 - (d) 正規のゴールキーパーが到着するまで、B5 はコートプレーヤーとして出場できない。

10. 競技の開始とともに、ホームチーム A の会長は 2 名のチーム役員、トレーナー、そしてコーチとともにチームベンチに腰を下ろした。

- (a) 控えのゴールキーパーがベンチの後方で立っていなければならない。
- (b) 会長は交代地域から去らなければならない。
- (c) 役員のうち誰か 1 名が交代地域から去らなければならない。
- (d) 記録用紙に記載されていない者はすべて、交代地域から去らなければならない。
- (e) チーム責任者に段階的罰則を適用する。

11. 記録用紙に記載されており、競技場にいないといけないプレーヤーは、少なくとも何名か。

- (a) 5 名のプレーヤー
- (b) 4 名のコートプレーヤーと 1 名のゴールキーパー
- (c) 5 名のコートプレーヤーと 1 名のゴールキーパー
- (d) 6 名のプレーヤー

12. A チームの速攻のとき、余計なプレーヤー B7 がコートに入り、A5 をつかまえて明らかな得点チャンスを妨害した。

- (a) B7 を 2 分間退場
- (b) B7 を失格 (ブルーカードを提示しない)
- (c) B7 を失格 (ブルーカードを提示する)
- (d) フリースロー
- (e) 7 m スロー

13. レフェリーが B チームのフリースローライン際からのフリースローを A チームに与えた。その直後にタイムキーパーが笛を吹き、同時に時計を止めた。レフェリーが競技中断の理由を尋ねると、タイムキーパーは「A9 が不正交代をした」と答えた。

- (a) B チームのフリースローライン際から A チームのフリースロー
- (b) フリースローライン際から B チームのフリースロー
- (c) A チームの交代地域前から B チームのフリースロー
- (d) A9 の 2 分間退場

14. 競技の中断中に B14 が正しく交代した。しかし、タイムキーパーが笛を吹き、B14 は記録用紙に記載されていないと説明した。B14 は B18 として記録用紙に記載されていたことが判明した。なお、大会登録でも B18 となっていた。
- (a) B チームのチーム責任者に段階的罰則を適用する。
 - (b) オフィシャル席の前から A チームにフリースローを与える。
 - (c) B14 は B18 のユニホームに着替える。
 - (d) 競技の中断の理由に相応しいスローで競技を再開する。記録用紙にその旨を特記する。
15. 記録用紙に記載されていない B8 は遅れて到着し、ロッカールームから直接コート内に走り込み、ジャンプシュート中の A4 の背中を押して身体のコントロールを失わせ、明らかな得点チャンスを妨害した。
- (a) A チームの 7 m スロー
 - (b) A チームのフリースロー
 - (c) B8 を失格（報告書を伴わない）
 - (d) B8 を失格（報告書を伴う）
 - (e) B チームのチーム責任者に段階的罰則を適用
16. プレーヤーの負傷によるタイムアウト中に、レフェリーが入場許可を与えていないにもかかわらず、A チームの余計なプレーヤーがコート内に飛び込んでいった。
- (a) プレーヤーを警告とする。
 - (b) プレーヤーを 2 分間退場とする。
 - (c) プレーヤーを失格とする。
 - (d) プレーヤーを 2 分間退場とし、A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
17. 競技の終了直前に、B チームがフリースローにより直接ゴールを狙った。ボールがゴールに入る寸前に自動終了合図があった。
- (a) 競技の終了
 - (b) 笛の合図なしに B チームのフリースローを再度実施
 - (c) 笛の合図の後に B チームのフリースローを再度実施
 - (d) B チームの 7 m スロー

18. A チームのプレーヤーが負傷したために、コートレフェリーはタイムアウトを取り、A チームのドクターにコートへの入場を許可した。B チームのコーチもまた自チームのゴールキーパーに指示するためにコート内に入った。
- (a) 問題はない。コートへの入場を許可する合図は両チームのプレーヤー・チーム役員の全員に適用されるからである。
 - (b) B チームのチーム役員 4 名全員を警告とし、その違反を繰り返した場合は失格とする。
 - (c) B チームのチーム責任者を警告とする。
 - (d) B チームのコーチに段階的罰則を適用する。
19. ゴールキーパー A16 が負傷したため、A5 が代わりを務めることになり、ユニホームを着替えた。20 分後、A16 は再びプレーできるようになり、トレーナーは A5 と交代させた。A5 は元のユニホームに着替えた後、スコアラーに告げずにコートプレーヤーとして再びコートに入場した。
- (a) 競技規則で認められているので問題なし
 - (b) B チームのフリースロー
 - (c) A5 を 2 分間退場
 - (d) A5 を失格
20. ボールがサイドライン方向に飛んでいった。サイドラインを越える前に、A3 はかろうじて A7 に向けてボールをはたいた。その際、A3 の片足がコート外に出た。A7 はボールをキャッチし、シュートを決めた。
- (a) B チームのスローイン
 - (b) B チームのフリースロー
 - (c) 得点
 - (d) A3 を 2 分間退場
21. A チームが相手陣で攻撃しているとき（インプレー中）、A4 が交代ラインの外側を通過して自陣のコートから出てしまった。A4 がサイドラインを越えて交代地域に戻りつく前に、A11 は正しい場所からコート内に入った。タイムキーパーの笛の後にとる処置はどれか。
- (a) A4 がコートから出てしまった場所から、B チームのフリースロー
 - (b) A チームの交代ラインから、B チームのフリースロー
 - (c) A4 を 2 分間退場
 - (d) A11 を 2 分間退場
 - (e) A4 と A11 を 2 分間退場

22. 競技の中断中に、B3 は B チームで初めて不正交代をした。これは B チームへのフリースローが判定された後であった。この試合で B3 は、まだ警告・2 分間退場となっていなかった。

- (a) B3 を警告
- (b) B3 を 2 分間退場
- (c) A チームのフリースロー
- (d) B チームのフリースロー

23. レフェリーが A チームに 7 m スローを判定した後、コートに入って 7 m スローを行うように指示された A27 が不正交代をした。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) A チームの 7 m スロー
- (c) B チームのゴールキーパーズスロー
- (d) A27 を 2 分間退場

24. ゴールキーパー A3 は 7 m スローを行おうとしていた。無人となったゴールを守るために、A15 はコートプレーヤーのうちの 1 名と交代し、ゴールキーパーのユニホームを着てコート内に入った。

- (a) A3 を 2 分間退場
- (b) A15 を 2 分間退場
- (c) 罰則は不要
- (d) A チームの 7 m スロー
- (e) A チームの交代ラインから B チームのフリースロー

25. A5 は明らかな得点チャンスを得ていた。ちょうどそのとき、A チームのコーチがタイムキーパーを侮辱したため、A5 がシュートしようとした瞬間にタイムキーパーが笛を吹いた。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) A チームのコーチを警告
- (c) A チームのフリースロー
- (d) A チームの 7 m スロー
- (e) 記録用紙にその旨を特記

26. A6 はすでに 2 回、2 分間退場となっていた。そして、A6 はチームとして 2 回目の不正交代をした。レフェリーが不正交代を告げた後で、A6 は極めてスポーツマンシップに反する行為をした。

- (a) A6 を (3 回目の) 2 分間退場とする。
- (b) A6 を (直接の) 失格とする。
- (c) ブルーカードを提示し、試合後報告書を作成する。
- (d) つまり、A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らすことになる。
- (e) つまり、A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らすことになる。
- (f) つまり、A チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らすことになる。

27. A チームが速攻で明らかな得点チャンスを得た。そのときに B3 が不正交代をした。タイムキーパーとスコアラーはこれに気づかなかったが、コートレフェリーが気づいていた。

- (a) 直ちに B3 を 2 分間退場とし、A チームのフリースロー
- (b) 直ちに B3 を 2 分間退場とし、A チームの 7 m スロー
- (c) 明らかな得点チャンスが終わるまで待ち、B3 を 2 分間退場、A チームのフリースロー
- (d) 明らかな得点チャンスが終わるまで待ち、B3 を 2 分間退場とし、競技の中断の状況に相応しいスローで競技を再開

28. ゴールキーパー A がシュートを止め、ボールは A チームの交代ベンチ近くのサイドラインに向かって転がっていった。ベンチに座っていた A5 はコート内に片足を入れてボールを止めたので、ボールがサイドラインを越える前に A4 はボールを所持できた。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) B チームのスローイン
- (c) A5 を 2 分間退場
- (d) A5 を失格

29. 退場時間が満了する 30 秒前に、A3 は競技を妨害することなくコート内に入った。そのとき、A チームがボールを所持していた。

- (a) B チームのフリースローとする。
- (b) A チームのフリースローとする。
- (c) A3 を新たに 2 分間退場とする。そして、A チームはコート上のプレーヤーを 30 秒間さらに 1 名減らす。
- (d) A3 を 30 秒間退場とする。そして、A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間さらに 1 名減らす。
- (e) A3 を失格とする。そして、A チームはコート上のプレーヤーを 30 秒間さらに 1 名減らす。

30. A2 は 2 分間退場となったが、1 分経過したところで、コーチが A2 をコートへ戻した。タイムキーパーが笛を吹く前に、すでに A2 は B チームの明らかな得点チャンスを妨害していた。

- (a) B チームのフリースローとし、A2 を新たに 2 分間退場とする。
- (b) B チームの 7 m スローとし、A2 を新たに 2 分間退場とする。そして、A チームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間 (1 分間) さらに 1 名減らす。
- (c) B チームの 7 m スローとし、A2 を失格とする (報告書を伴わない)。そして、A チームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間 (1 分間) さらに 1 名減らす。
- (d) B チームの 7 m スローとし、A2 を失格とする (報告書を伴う)。そして、A チームはコート上のプレーヤーを残りの退場時間 (1 分間) さらに 1 名減らす。

31. ゴールキーパー B はシュートを止め、速攻で走っている味方のプレーヤーにボールを投げようとしたときに、左足でゴールエリアラインを踏み越した。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) A チームのフリースロー
- (c) 笛の合図の後にゴールキーパーズローを再度実施

32. ゴールキーパー A はゴールエリアを出て、プレーイングエリアに立っていた。味方からボールを受け取るときに、片足がゴールエリアに入ってしまった。他方の足は、プレーイングエリアに残っていた。

- (a) B チームの 7 m スロー
- (b) そのまま競技を続行
- (c) B チームのフリースロー
- (d) ゴールキーパー A を 2 分間退場

33. ゴールキーパー A1 がボールに飛びついてシュートを止めたが、ボールはプレーイングエリアに向かった。A1 はボールに追いついたが、ゴールエリアラインを滑り越え、プレーイングエリアで味方のプレーヤーにパスをした。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) そのまま競技を続行
- (c) 笛の合図の後に A チームのゴールキーパーズロー

34. ゴールキーパー B はシュートを止めた。ボールはプレーイングエリアに向かって転がっていった。ゴールエリアライン際で待ち構えている A15 にボールが届かないようにするため、A15 に手渡る寸前に、ゴールキーパー B は足でボールの転がる向きを変えてアウトゴールラインの外へ出した。
- (a) A チームの 7 m スロー
 - (b) A チームのフリースロー
 - (c) そのまま競技を続行
 - (d) 相手を危険にさらしたため、ゴールキーパー B に段階的罰則を適用
35. 得点は 20 対 20 であった。B7 は A チームのパスをインターセプトし、速攻に移った。A チームのプレーヤーは誰も B7 の後を追えなかった。観客のひとりがコート内に乱入して B7 を引き倒した。このため、他の観客もコートに入って大騒ぎとなった。B チームのコーチは B7 のプレーを妨害した観客を殴った。
- (a) 競技を中止する。
 - (b) タイムアウトを取り、B チームの 7 m スローとし、B チームのコーチを失格とする（ブルーカードを提示する）。さらに B チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
 - (c) タイムアウトを取り、B チームの 7 m スローとし、B チームのコーチを失格とする（ブルーカードは提示しない）。
 - (d) タイムアウトを取り、B チームの 7 m スローとし、B チームのコーチ 2 分間退場とする。
36. ゴールキーパー A はシュートを止めたが、ボールはプレーイングエリアに向かって転がっていき、B6 がそのボールを取ろうとひとりで待ち構えていた。ボールがゴールエリアライン上に来たとき、ゴールキーパー A はかろうじて片足でそのボールを止めた。
- (a) 笛の合図の後に A チームのゴールキーパー スロー
 - (b) ゴールキーパー A に段階的罰則を適用
 - (c) B チームのフリースロー
 - (d) B チームの 7 m スロー

37. レフェリーは A チームのフリースローライン際で B チームにフリースローを与えた。両チームのプレイヤーが正しい位置についた後、レフェリーは競技の再開の笛を吹いた。スローを行うプレイヤーがボールを手から離す前に、味方 (B チーム) の 2 名がフリースローラインを越えて侵入した。
- (a) B チームのフリースローを再度実施
 - (b) A チームのフリースロー
 - (c) 競技再開の合図の後に
 - (d) 競技再開の合図なしに
38. プレーイングエリアに立っていた A3 は、味方のゴールキーパーがはじいたボールをキャッチした。B10 が A3 を正当なプレーで防御したため、A3 はボールを自陣のゴールエリア内でボールをバウンドさせて再びつかんだ。
- (a) そのまま競技を続行
 - (b) B チームの 7 m スロー
 - (c) B チームのフリースロー
 - (d) A チームのフリースロー
39. ゴールキーパー A はゴールキーパーズローを行おうとして、片手でボールを持ってゴールエリア内に立っていた。相手の B6 は、開いた片手でゴールキーパーの手からボールを払い落とした。
- (a) 競技再開の合図なしに、A チームのゴールキーパーズロー
 - (b) 競技再開の合図なしに、A チームのフリースロー
 - (c) 競技の再開の合図の後に、A チームのゴールキーパーズロー
 - (d) B6 に段階的罰則を適用
40. ボールを所持していた A8 は数名の相手プレイヤーから正当に防御されたため、故意に自陣のゴールエリア内へ向けてボールを転がしたところ、ボールがゴールエリア内で止まってしまった。ゴールキーパー A はそのボールを拾わなかった。
- (a) 競技再開の合図なしに、ゴールキーパーズロー
 - (b) 競技再開の合図の後に、ゴールキーパーズロー
 - (c) B チームの 7 m スロー
 - (d) 競技再開の合図なしに、B チームのフリースロー

- 4 1. B チームのスローインになった。B7 は正しくスローインの位置についたとき、ゴールキーパー A12 がゴールのかなり前に立っているのに気づいて、無人のゴールをめがけて直接シュートを狙った。コートプレイヤー A3 がゴールエリア内に侵入してボールを止めた。
- (a) 得点
 - (b) B チームのフリースロー
 - (c) B チームの 7 m スロー
 - (d) A3 に段階的罰則を適用
- 4 2. A4 は立った状態でボールをキャッチした。その後、ジャンプして右足で着地し、さらに左足でジャンプしてボールを投げた。A4 は何歩進んだことになるか。
- (a) 1 歩
 - (b) 2 歩
 - (c) 3 歩
 - (d) 4 歩
- 4 3. プレイヤーがジャンプしてボールをキャッチし、両足同時に着地した。その後、右足をあげて横に 1 歩ステップを踏み、左足を右足のところまで引きずり寄せた。このプレイヤーは何歩進んだことになるか。
- (a) 1 歩
 - (b) 3 歩
 - (c) 0 歩
 - (d) 2 歩
- 4 4. B チームが得点をあげ、引き続いて A10 がスローオフの位置についた。味方のプレイヤーは誰もボールを受け取る用意ができていなかったため、A10 はゴールエリア内にいるゴールキーパー A17 にボールを投げた。驚いた A17 はボールをキャッチして A9 に投げ返した。
- (a) そのまま競技を続行
 - (b) B チームの 7 m スロー
 - (c) B チームのフリースロー
 - (d) 違反を正してからスローオフを再度実施

45. A5 はボールをファンブルしたが、かろうじてキャッチした。その後、3 歩進み、1 度ボールをはずませてから、さらに 3 歩進んでシュートを決めた。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) 得点
- (c) B チームのゴールキーパースロー
- (d) B チームのスローイン

46. 競技の終了合図の後に B チームがフリースローを行おうとしていた。フリースローが行われる前に、A8 と A9 が同時にコートから出た。その交代として、まず A10 が、その直後に A11 がコート内に入った。

- (a) タイムキーパーは笛を吹いて、A チームに不正交代があったことをレフェリーに知らせる。
- (b) 不正交代により、A10 を 2 分間退場とする。
- (c) 不正交代により、A11 を 2 分間退場とする。
- (d) 競技規則違反はないので、タイムキーパーは笛を吹かない。
- (e) A11 は交代地域に戻らなければならない。A8 か A9 のどちらかは再びコートに入ることが許される。

47. A3 は走りながら前方にボールを放り投げて相手ふたりの間をすり抜け、ボールが床につく前に再びキャッチした。B チームのゴール前までノーマークの状態になったので、A3 は 1 度ボールをはずませてからシュートを決めた。

- (a) 得点
- (b) B チームのフリースロー
- (c) B チームのゴールキーパースロー

48. A7 はボールを一度はずませ、A5 にパスをしようとしたが、A5 は相手に防御されていた。A7 は戸惑ってボールを手からこぼしてしまったが、床に落ちる前に再びキャッチした。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) B チームのフリースロー
- (c) A チームのフリースロー

49. A7 は味方の防御陣の中央に立っていた。B3 はバウンドパスをしようとした。これまでも A7 は故意に足でパスを止めようとして注意されていたが、今回はパスを止めようとした足にボールがあたって、A チームのゴールの中に入った。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) 得点
- (c) B チームの 7 m スロー
- (d) A7 に段階的罰則を適用

50. ゴールキーパー A はシュートを止め、そしてプレーイングエリアの方へ転がっていくボールに飛びついた。B7 は妨害されることもなくボールを拾おうと待ち構えていた。寸前で、ゴールキーパー A はボールをアウトターゴールラインの外へ手ではじき出した。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) B チームのスローイン
- (c) A チームのゴールキーパーズロー
- (d) A チームのフリースロー

51. A チームのシュートしたボールが B チームのゴールポストにあたって跳ね返り、ゴール近くでゴールエリア内に立っていたレフェリーにあたった。このため、ボールはアウトターゴールラインではなく、サイドラインを越えて出てしまった。

- (a) A チームのフリースロー
- (b) B チームのスローイン
- (c) B チームのゴールキーパーズロー

52. サイドプレーヤー A4 が明らかな得点チャンスを得た。最後の瞬間に B7 は開いた片手を使って A4 のボールを取ろうとしたが、B7 の手は A4 の手にあたってしまった。その結果、シュートは決まらなかった。

- (a) A チームのフリースロー
- (b) A チームの 7 m スロー
- (c) B7 を 2 分間退場
- (d) B7 を警告
- (e) B7 への罰則は不要

53. フリースローライン付近で、ボールを持った A3 は B4 をかわした。A3 は 3 歩進んだところで明らかな得点チャンスを得てシュートを打とうとした。しかし、A3 は B4 に押されたために 4 歩目の足が床に着いた直後にボールを投げてシュートを決めた。このとき B チームの他のプレーヤーは誰も A3 のプレーを防御できない状況であった。
- (a) アドバンテージルールにより得点
 - (b) B4 に段階的罰則を適用
 - (c) A チームのフリースロー
 - (d) A チームの 7 m スロー
54. A6 が速攻に出た。ゴールキーパー B12 はゴールエリアから飛び出してボールを得ようとしたが、A6 と衝突した。一方、防御側プレーヤーは A6 を正当に止められる状況であった。
- (a) B12 を 2 分間退場
 - (b) B12 を失格 (ブルーカードを提示しない)
 - (c) A チームの 7 m スロー
 - (d) A チームのフリースロー
 - (e) B12 を失格 (ブルーカードを提示する)
55. ゴールエリア際でノーマークの状態にあるポストプレーヤー A9 がパスを受け取った。シュートを打とうとした A9 の腕を B2 が背後から引っ張った。
- (a) A チームのフリースロー
 - (b) A チームの 7 m スロー
 - (c) B2 を 2 分間退場
 - (d) B2 を失格
 - (e) ブルーカードを提示する
56. 出血しているプレーヤーがコート内にいる場合について、正しい記載はどれか。
- (a) そのプレーヤーは直ちに自主的にコートから出なければならない。
 - (b) 自主的にコート外へ出たとしても、自チームが 3 回の攻撃を完了するまで、そのプレーヤーはコートにはいることはできない。
 - (c) 出血しているプレーヤーと交代するプレーヤーは、交代ラインを通らずにコート内に入ってもよい。
 - (d) 次の競技の中断まで、そのプレーヤーは再びコートに入ることができない。
 - (e) そのプレーヤーが、コートから出るようにというレフェリーの指示に従わない場合には、スポーツマンシップに反する行為として罰則を適用しなければならない。

57. A4 が相手のゴールエリアライン際でパスを受け取った。A4 の前にはゴールキーパーしかいなかった。A4 はシュートを打とうとする前に、B3 にユニホームを引っ張られて引き倒され、ボールを落としてしまった。

- (a) B3 を警告
- (b) B3 を即座に 2 分間退場
- (c) B3 を失格
- (d) A チームのフリースロー
- (e) A チームの 7 m スロー

58. プレーヤーが失格となるのはどのような場合か。

- (a) 相手に危害を及ぼすような行為をした場合
- (b) コート内外で極めてスポーツマンシップに反する行為をした場合
- (c) コート内でスポーツマンシップに反する行為を繰り返した場合
- (d) 1 回目の 2 分間退場中に不正交代をした場合

59. チーム役員が抗議して 2 分間退場となった。競技の再開前に再び抗議したため、失格となった。

- (a) チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす。
- (b) チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす。
- (c) チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。

60. 前半の終了直前に A7 は B5 に暴力行為をすると同時に明らかな得点チャンスを妨害した。レフェリーが笛を吹く前に自動終了の合図があった。

- (a) 前半の終了とし、A7 に罰則を適用しない。
- (b) 前半の終了とし、7 m スローやフリースローを行わない。
- (c) A7 を失格とする(ブルーカードを提示する)。
- (d) B チームの 7 m スローとする。
- (e) A7 を失格とする(ブルーカードを提示しない)。

- 6 1. A8 はプッシングにより 2 分間退場となった。A8 はレフェリーに近寄り、「間抜け、馬鹿野郎、おまえは何も分っていない」などと罵った。さらにコートから出る前にレフェリーの顔に唾をかけた。
- (a) A8 を失格（ブルーカードを提示しない）とし、A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
 - (b) A8 を失格（ブルーカードを提示しない）とし、A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす。
 - (c) A8 を失格（ブルーカードを提示する）とし、A チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす。
 - (d) A8 を失格（ブルーカードを提示する）とし、A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす。
- 6 2. A チームのシュートが B チームのゴールポストにあたって跳ね返り、ボールはプレーイングエリアに立っている防御側プレーヤー B3 の足にあたり、そしてゴールの中へ入った。
- (a) A チームのフリースロー
 - (b) 得点
 - (c) A チームの 7 m スロー
 - (d) B チームのゴールキーパーズスロー
- 6 3. ゴールキーパー A はシュートを止めた後、ゴールエリアラインの内側に立っていた防御側プレーヤー A3 の背中にボールがあたってゴールの中に入った。
- (a) B チームのフリースロー
 - (b) B チームの 7 m スロー
 - (c) A3 を警告または退場
 - (d) B チームの得点
- 6 4. ゴールキーパー B がシュートを止め、速攻を開始させようとしたが、持っていたはずのボールが手からこぼれ落ち、ゴールの中に転がり込んでしまった。
- (a) 得点
 - (b) ゴールキーパーズスローを再度実施
 - (c) A チームのスローイン
 - (d) A チームのフリースロー

65. A3 は自陣のゴールエリア内に侵入し、足でシュートを止めようとした。ボールは A3 の足にあたってゴールの中に入った。
- (a) B チームのフリースロー
 - (b) B チームの 7 m スロー
 - (c) 得点
 - (d) A チームのゴールキーパーズスロー
66. ゴールキーパー B はゴールのかなり手前にいたので、A11 はループシュートを放った。ボールがゴールラインを通過する前に、ゴール後方の観客席最前列にいた B チームのマネージャーがボールを押し戻した。
- (a) A チームの 7 m スロー
 - (b) A チームの得点
 - (c) B チームのマネージャーを失格
 - (d) 記録用紙にその旨を特記
67. 得点は 25 対 25 であった。競技の終了の 2 秒前に、記録用紙に記載されていない A チームの役員が、無人となった自チームのゴールに向かっているボールをインターセプトして B チームの得点を妨げた。その直後に競技の終了合図があった。
- (a) 25 対 25 で競技の終了
 - (b) B チームの 7 m スロー
 - (c) 25 対 26 で競技の終了
 - (d) A チームの役員を失格
 - (e) 記録用紙にその旨を特記
68. A チームがコイントスに勝ち、サイドの交換を望んだ。B チームの代表者は、A チームがスローオフを行うべきだと主張した。
- (a) A チームのスローオフ
 - (b) サイドを交換し、B チームのスローオフ
 - (c) コイントスを再度実施
 - (d) 両チームの代表者の同意が必要

69. 競技の終了直前の得点は 15 対 15 であった。ビジターチームが得点して 16 対 15 となった。ホームチームは直ちにスローオフを行いたかった。ボールを持ったプレイヤーは、コート中央で片足を相手陣側に、他方の足を自陣側に置き、センターラインを踏まずにまたいで立った。

- (a) 誤った位置を正した後に、スローオフの笛を吹く。
- (b) 位置は正しいので、スローオフの笛を吹く。
- (c) タイムアウトを取り、誤った位置を正した後に、スローオフの笛を吹く。

70. B4 は片足をサイドライン上に、他方の足をプレーイングエリア内に置いて立っていた。この状態で B4 はスローインを行い、直接シュートを決めた。

- (a) 得点
- (b) 再開の合図の後に B チームのスローインを再度実施
- (c) A チームのフリースロー
- (d) A チームのゴールキーパーズスロー

71. A6 は片足をコート内に、他方の足をサイドラインの外側に置き、サイドラインを踏まずに立っていた。この状態で A6 はスローインを行い、直接シュートを決めた。

- (a) 再開の合図の後に A チームのスローインを再度実施
- (b) B チームのフリースロー
- (c) 得点
- (d) B チームのゴールキーパーズスロー

72. ゴールキーパーズスローが行われたと見なされて、コートプレイヤーがボールに触れることができるのはいつか。

- (a) ボールがまだゴールエリア上の空中にあるとき
- (b) ボールがゴールエリアラインを越え、プレーイングエリアに出たとき
- (c) ゴールキーパーがボールを手から離したとき
- (d) ゴールキーパーの味方のプレイヤーがボールに触れたとき

73. A チームがシュートを打った。ボールは誰にも触れずにクロスバーにあたって跳ね上がり、B チームのゴールエリア上方の付属設備にあたった。そこから、ボールは B チームのゴールキーパーのちょうど手の中に落下してきた。

- (a) ゴールキーパースロー
- (b) 再開の合図なしに B チームのスローイン
- (c) 再開の合図の後に B チームのフリースロー
- (d) 再開の合図の後に B チームのスローイン
- (e) 必ずタイムアウト

74. A チームがフリースローを行おうとしていた。すべてのプレーヤーは正しい位置にいた。A10 は指示を出すために、持っていたボールを床に置いた。B7 はこの状況をすぐに把握し、ボールを拾い上げて速攻を開始した。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) 再開の合図の後にフリースローを再度実施
- (c) B7 を警告とし、A チームのフリースロー
- (d) B7 を 2 分間退場とし、A チームのフリースロー

75. B チームはフリースローを行いたかったが、A11 がボールからわずか 2 m しか離れていない場所に立ってスローを遅らせようとしていた。

- (a) A11 に段階的罰則を適用し、再開の合図の後にフリースロー
- (b) 再開の合図の後にフリースロー（罰則なし）
- (c) A11 を即座に 2 分間退場
- (d) A11 の位置を正し、再開の合図の後にフリースロー（罰則なし）

76. A チームへのフリースローが判定された。A5 がボールを拾い上げる前に、B6 が拾い上げて抱え込みながら、自陣のゴールに向かって走り出した。数歩走った後、B6 は A5 に対してボールを転がした。

- (a) B6 を 2 分間退場
- (b) 再開の合図の後に A チームのフリースロー
- (c) B6 を警告
- (d) そのまま競技を続行
- (e) タイムアウト

77. A5 の速攻中に、B チームのチーム役員がベンチから飛び出して自陣のゴールエリアの方へ走っていった。A5 は面食らって走るのを止めた。A5 は明らかな得点チャンスを得ていたと、レフェリーは判断した。違反したチーム役員は、ボールを所持していた A5 の身体には触れていなかった。そのチーム役員が A5 に最も接近したときで、その距離は約 10 m であった。

- (a) タイムアウト
- (b) A チームのフリースロー
- (c) A チームの 7 m スロー
- (d) チーム役員を失格 (ブルーカードを提示しない)
- (e) チーム役員を失格 (ブルーカードを提示する)

78. A チームは速攻を開始した。A5 は相手のゴールエリアライン際でノーマークになっている A7 にボールをパスしようとした。A5 がパスを出したとき、B チームのチーム役員がコートに走り込んできて、ボールをキャッチした。

- (a) A チームのフリースロー
- (b) A チームの 7 m スロー
- (c) B チームのチーム役員を 2 分間退場
- (d) B チームのチーム役員を失格 (ブルーカードを提示しない)
- (e) B チームのチーム役員を失格 (ブルーカードを提示する)

79. A5 はゴールキーパー B に対してノーマークになり、明らかな得点チャンスを得た。A5 がシュートを打とうとした瞬間に、B チームのプレーヤーが不正交代をしたため、タイムキーパーは笛を吹いた。

- (a) 不正交代をしたプレーヤーを 2 分間退場
- (b) 不正交代をしたプレーヤーを失格
- (c) A チームのフリースロー
- (d) A チームの 7 m スロー

80. 防御側プレーヤー B7 は、ポストプレーヤー A9 にボールが渡るとゴールキーパーに対してノーマークになると判断したので、パスを妨害するために先ほどと同じように A9 に向かってゴールエリアの中を走り出した。A9 がボールをキャッチしたとき、すでに B7 はゴールエリアを走り抜けてプレーイングエリアに出ていた。次の瞬間に A9 は振り向き、正面から B7 に突きあたった。

- (a) A チームの 7 m スロー
- (b) A チームのフリースロー
- (c) B チームのフリースロー
- (d) B7 に段階的罰則を適用
- (e) タイムアウト

- 8 1. 「極めてスポーツマンシップに反する行為」、すなわちレッドカードの後、ブルーカードを提示する失格に相当する行為はどれか。
- (a) コートプレーヤーが、足の膝より下の部位で繰り返し防御する。
 - (b) チーム役員が明らかな得点チャンスを妨害する。
 - (c) 他者に唾を吐く。
 - (d) 時間を浪費するために、繰り返し競技を遅延させる。
- 8 2. レフェリーの笛の合図に続いて、A3 は 7 m スローを行おうとした。A3 がボールを手から離す前に、A5 がフリースローラインを踏み越した。ゴールキーパー B はシュートを止め、ボールをコントロールした。
- (a) 7 m スローを再度実施
 - (b) B チームのフリースロー
 - (c) B チームのゴールキーパーズスロー
- 8 3. レフェリーの笛の合図に続いて、B2 が 7 m スローを行おうとしたとき、A5 がフリースローラインを踏み越した。A5 の違反にもかかわらず、B2 はシュートを決めた。
- (a) 得点とし、A5 を失格
 - (b) 得点とし、A5 を退場
 - (c) 得点
 - (d) A5 を失格とし、7 m スローを再度実施
- 8 4. B3 がジャンプシュートをし、A9 がそのシュートをブロックした。コートに落ちたボールを A9 は両手で拾い上げ、ドリブルで速攻を開始した。A9 は B チームのゴールにシュートを決めた。
- (a) 得点
 - (b) B チームのフリースロー
 - (c) A9 を 2 分間退場
 - (d) タイムアウト

85. B18 が A チームのゴールに向けてシュートを打った。そのシュートはブロックされ、ボールは方向を変えて明らかに（ゴールエリア内の）アウターゴールラインを通過してコート外に出ようとしていた。ゴールキーパー A1 はボールの後ろを追いかけて、かろうじてアウターゴールラインからボールを蹴り出した。

- (a) A チームのゴールキーパー スロー
- (b) B チームのスローイン
- (c) B チームのフリースロー
- (d) A1 を警告

86. B7 は速攻を開始しようとしたが、A17 につかまえられた（ホールディング）。アドバンテージを見ていたレフェリーがまさに笛を吹こうとしたとき、B8 がボールを受け取って A チームのゴールにシュートを打った。ゴールキーパー A12 はシュートを止めて、速攻を開始しようとしていた。すでに両チームとも 3 回の警告を適用されていた。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) A17 を 2 分間退場
- (c) A12 のゴールキーパー スロー
- (d) タイムアウト
- (e) B チームのフリースロー

87. 両レフェリーが体育館に入ると、まだユニホームを着用していないプレーヤーが、「今日もこの間抜けどもが担当するのか」と叫んだ。競技の開始後 12 分経過したところで、このプレーヤーが B4 のユニホームを着用して遅れてベンチに到着した（B4 は記録用紙に記載されていた）。レフェリーは B4 に気づいた。

- (a) B4 を失格とする。
- (b) B チームのコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
- (c) B チームはコート上のプレーヤーを減らさずに、競技を続行できる。
- (d) レッドカードの後、ブルーカードを提示し、試合後に報告書を作成する。
- (e) B チームは 14 名にするため、他のプレーヤーを補充できる。

88. 競技中、チーム役員に対しては最大何回まで警告とすることができるか。

- (a) なし
- (b) 1 回
- (c) 2 回
- (d) 3 回

89. A5 はすでに警告と 2 回の 2 分間退場となっていた。B チームがフリースローを行うとき A5 は初めて 3 m の距離を確保しなかった。

- (a) 警告
- (b) 2 分間退場
- (c) 罰則なし
- (d) 3 回目の 2 分間退場、すなわち失格

90. 速攻中、B9 は A4 にユニホームを引っ張られた（すでに A4 は警告となっていた）。B9 はかろうじて B8 にボールを渡し、B8 は得点をあげた。その後、レフェリーは A4 に罰則を適用しようとしたが、A4 はすでに交代してベンチに座っていた。

- (a) A4 を 2 分間退場とする。A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
- (b) A4 は次の 2 分間出場できない（しかし、A チームはコート上のプレーヤーを減らさなくてよい）。
- (c) もはや罰則を適用できない。
- (d) A4 を失格とする（A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす）。

91. プレーヤーを退場としたとき、この退場は誰に示さなければならないか。

- (a) 退場としたプレーヤー、タイムキーパー・スコアラー
- (b) チーム責任者とタイムキーパー
- (c) タイムキーパー・スコアラー
- (d) 退場としたプレーヤー、チーム責任者、スコアラー

92. 競技規則により失格（ブルーカードを提示する）となる違反はどれか。

- (a) チーム役員がレフェリーの許可を得ずにコート内に入る（2 回目）。
- (b) チーム役員が自チームに競技を強引に放棄させようとする。
- (c) 7 m スローを行うとき、ボールの方向へと移動させてはいないゴールキーパーの頭部にボールをぶつける。
- (d) レフェリーの判定の後、これ見よがしにプレーヤーが観客席にボールを投げ込む。
- (e) コート外にいるプレーヤーが観客に唾を吐きかける。

- 9 3. プレーヤーが違反により 2 分間退場となった。このプレーヤーがコートを出ていく途中でレフェリーを侮辱したため、レフェリーはレッドカードをあげた。このプレーヤーはひどく激怒してレフェリーを殴った。
- (a) ブルーカードを提示し、試合後、報告書を作成する。
 - (b) チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らして競技しなければならない。
 - (c) チームはコート上のプレーヤーを次の 2 分間さらに 1 名減らして競技しなければならない。
 - (d) チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らして競技しなければならない。
- 9 4. A3 は 2 分間退場となった。A3 はコートを出た後、競技の再開前に交代地域で B チームのコーチに対して著しくスポーツマンシップに反する行為をした。その直前、B チームのコーチはタイムアウトとは無関係にコート内に走り込んでいた。ただし、B チームのチーム役員への罰則はまだ適用されていなかった。
- (a) A3 を失格
 - (b) B チームのコーチを警告
 - (c) A チームは 4 名のコートプレーヤーで競技を再開
 - (d) A チームは 5 名のコートプレーヤーで競技を再開
- 9 5. 競技の開始前にウォーミングアップをしていたとき、コートプレーヤー A3 とゴールキーパー B1 が偶然に衝突した。両者は互いに腹を立て、B1 が A3 を殴った。すると次に A3 が B1 を殴り返した。まだメンバー表は提出されていなかった。
- (a) B1 を失格、A3 を 2 分間退場とする。両チームは 14 名のプレーヤーを登録できる。報告書を作成する。
 - (b) 両プレーヤーを失格とする。両チームは 14 名のプレーヤーを登録できるが、競技の開始のときから 2 分間はコート上のプレーヤーを 1 名減らす。報告書を作成する。
 - (c) 両プレーヤーを競技の開始のときから 2 分間退場とする。報告書を作成する。
 - (d) 両プレーヤーを失格とする。両チームは 14 名のプレーヤーを登録できる。報告書を作成する。
- 9 6. プレーヤーが失格となったとき、チームのプレーヤーの数は 1 名減らされる。例外となるのはどのような失格の場合か。
- (a) 休憩時間中の著しくスポーツマンシップに反する行為
 - (b) コート外での違反
 - (c) 競技の開始前の違反
 - (d) 競技時間中のレフェリーへの侮辱

97. 前後半の間の休憩時間中、レフェリーが控室に戻る途中で、プレーヤーに侮辱された。
- (a) 失格とする。レッドカードの後にブルーカードを提示する。
 - (b) 2 分間退場とする（競技の後半の開始時）。
 - (c) 競技の後半の開始時にコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
 - (d) 報告書を作成する。
98. 前後半の間の休憩時間に入った後、A9 と B5 はコート上で衝突して互いに大声を出した。そして、A9 が B5 の胸を両手で突き飛ばしたため、B5 はよろめいた。
- (a) 競技の後半の開始時に A9 を 2 分間退場とする。
 - (b) A9 を失格（ブルーカードを提示しない）とし、A チームは競技の後半の開始時にコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
 - (c) A9 を失格（ブルーカードを提示しない）とするが、A チームは競技の後半を 6 名のコートプレーヤーで開始できる。
 - (d) A9 を失格（ブルーカードを提示する）とする。
99. 競技の終了後、プレーヤーがレフェリーに向かって「お前は俺たちの試合を台無しにした。この間抜け」と叫んだ。
- (a) 警告
 - (b) 失格
 - (c) 報告書
 - (d) 警告と報告書
100. 前後半の間の休憩時間中、まだコートにとどまっていたプレーヤー A9 は B チームのコーチに対して暴力行為をした。次に、B チームのコーチが A9 を侮辱した。
- (a) A9 を失格（ブルーカードを提示する）とし、A チームは後半の開始時にコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
 - (b) B チームのコーチを失格（ブルーカードを提示する）とし、B チームは後半の開始時にコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。
 - (c) A9 を失格（ブルーカードを提示しない）とし、A チームはコート上のプレーヤーを減らさずに後半の競技を開始する。
 - (d) B チームのコーチを失格（ブルーカードを提示しない）とする。B チームはコート上のプレーヤーを減らさずに後半の競技を開始する。

101. プレーヤーの違反に対して、コートレフェリーが失格とフリースローを判定した。ゴールレフェリーは 2 分間退場と 7 m スローを判定した。どちらの罰則をプレーヤーに適用し、どのようにして競技を再開するか。
- (a) 2 分間退場
 - (b) 失格
 - (c) フリースロー
 - (d) 7 m スロー
102. 両チームに規則違反はなかったが、コートレフェリーは、競技を中断した。タイムアウトの笛はなかった。競技の中断の笛が鳴る直前に、すでに B13 はゴールキーパー A2 の守るゴールに向けてボールを投げている。ボールがゴールに向かっていてその笛が鳴り、その後ゴールキーパーに止められることなくゴールの中に入った。競技の再開方法はどれか。
- (a) B チームのフリースロー
 - (b) A チームのフリースロー
 - (c) B チームの 7 m スロー
 - (d) B チームの得点を認め、A チームのスローオフ
103. 報告書の作成が必要とされるのは、どの罰則か。
- (a) 3 回目の 2 分間退場によるもの以外の失格
 - (b) 注意以外のすべての罰則
 - (c) すべての 2 分間退場・失格
 - (d) 競技の終了間際に、得点機会を得るのを意図的に妨害するために行った、相手に危害を及ぼすような違反行為や著しくスポーツマンシップに反する行為
 - (e) 極めてスポーツマンシップに反する行為による失格
 - (f) 競技の終了間際に、相手が得点機会を得るのを意図的に妨害するために行ったすべての段階的罰則
104. 後半 27 分に A チームが 24 対 23 でリードしていたが、コート上のプレーヤーは B チームより 1 名少なかった。コートレフェリーが A チームへのフリースローを判定した。レフェリーがフリースローの正しい地点をはっきりと示しているにもかかわらず、A6 はその地点から明らかに数 m 離れた場所からフリースローを行おうとした。
- (a) 誤った位置を正し、競技の再開の合図をするだけである。
 - (b) 誤った位置を正し、競技の再開の合図をし、パッシブプレーの予告合図のジェスチャーをする。
 - (c) 誤った位置を正し、A6 に段階的罰則を適用し、競技の再開の合図をし、パッシブプレーの予告合図のジェスチャーをする

105. A7 が速攻をしていた。A7 の打ったシュートがジャンプしたゴールキーパー B12 の頭部にあたったため、B12 は倒れた。B12 の頭部にあたったボールはゴールエリアライン際に立っていた A9 に跳ね返り、A9 は無人のゴールにボールを投げ入れた。もし、ボールがゴールエリア上の空中にあってゴールに入る前に、レフェリーが笛を吹いたならば、どのように処置するか。

- (a) A チームの得点
- (b) A チームの 7 m スロー
- (c) 笛の合図の後に A チームのフリースロー
- (d) タイムアウト

106. A6 が 7 m スローの準備を終えたとき、B チームのコーチがゴールキーパー B にコートから出て交代するよう指示した。ゴールキーパー B はその指示に従おうとした。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) B チームのコーチを警告
- (c) B チームのコーチとゴールキーパー B を警告
- (d) ゴールキーパー B を警告

107. A9 がジャンプシュートをしようとした。B5 は、シュートしようとしている腕を背後からつかんで A9 を引き倒した。A9 とゴールの間には、あと 2 名の防御側プレーヤーがいた。

- (a) A チームのフリースロー
- (b) A チームの 7 m スロー
- (c) B5 を失格（ブルーカードを提示しない）
- (d) B5 を 2 分間退場
- (e) B5 を失格（ブルーカードを提示する）

108. A5 はサイドラインに沿ってドリブルをしていた。B2 は正当に A5 の進路を塞いだ。A5 は B2 をかわそうとして、ドリブルしながらサイドラインを踏み越えた。

- (a) A チームのフリースロー
- (b) B チームのスローイン
- (c) B チームのフリースロー
- (d) そのまま競技の続行

109. A チームのチーム責任者は両レフェリーに気づかれぬようにスコアラーを侮辱した。次の競技の中断時に、スコアラーはこの件をレフェリーに伝えた。

- (a) A チームのチーム責任者を失格
- (b) A チームのチーム責任者を 2 分間退場
- (c) 報告書を作成
- (d) A チームのチーム責任者を警告
- (e) 罰則の適用は不可能

110. B チームへのフリースローが判定されたが、まだ A5 がボールを持っていた。そのとき、A5 はレフェリーの方に寄ってきて、丁寧にボールを渡した。

- (a) A5 を 2 分間退場とし、今ボールのある地点から B チームのフリースロー
- (b) A5 を警告とし、今ボールのある地点から B チームのフリースロー
- (c) A5 を 2 分間退場とし、違反の起こった地点から B チームのフリースロー
- (d) A5 を警告とし、違反の起こった地点から B チームのフリースロー

111. A チームのプレーヤーが負傷し、タイムアウトが必要になった。レフェリーがコートへの入場許可を合図し、A チームのドクターが負傷したプレーヤーの処置をしていた。一方、A チームのコーチは加害者と思われる B5 を交代地域まで追いかけていき、そして B5 の顔を殴った。

- (a) コーチを失格とし(ブルーカードを提示する)、A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。競技の中断の理由に相応しいスローで笛の合図の後に競技を再開する。
- (b) コーチを 2 分間退場とし、B チームのフリースローとする。
- (c) コーチを失格とする (ブルーカードを提示しない)
- (d) 試合後、報告書を作成する。

112. ゴールキーパー A1 はゴールキーパーズローをしようとしたとき、ボールを手から落としてしまった。ボールはプレーイングエリアで待ち構えている B6 に向かってはずんでいった。A2 はゴールエリア上に飛び込み、空中にあるボールをサイドライン外へはたき出した。

- (a) 笛の合図の後に A チームのゴールキーパーズロー
- (b) B チームのスローイン
- (c) B チームのフリースロー
- (d) B チームの 7 m スロー

1 1 3. 失格としなければならない違反はどれか。

- (a) チーム役員がレフェリーの許可なくコート内に入場する(2回目)。
- (b) 速攻のとき、ボールを所持して走っているプレーヤーを引き倒す。特に危険な状況ではない。
- (c) 7 m スローのとき、静止しているゴールキーパーの顔面にボールをぶつける。
- (d) レフェリーの判定を不服として、ボールを観客席に投げ入れる。
- (e) ゴールキーパーはゴールエリアを離れ、相手チームのプレーヤーにパスされたボールを取るが、その移動中に相手と衝突する。

1 1 4. 後半の 6 分、A9 は 3 回目の 2 分間退場により失格となった。A9 はジャージを着てから交代地域の反対側のサイドライン後方にある観客席の最前列に座った。後半 25 分、A9 のすぐ目の前で、B3 が A10 に対して危害を及ぼす行為をしたため、A10 は負傷してコート上に倒れた。レフェリーが B3 に罰則を適用する前に、A9 はコート内に走り込んで B3 を殴った。

- (a) タイムアウトを取る。
- (b) B3 を失格 (ブルーカードを提示する) とする。
- (c) もう A9 は競技に関与しておらず、その行動については言及できない。
- (d) A9 の行動について報告書を作成する。
- (e) B3 を失格 (報告書を伴わない) とする。

1 1 5. 警告としなければならない場合はどれか。

- (a) おもに、または完全に相手の身体を狙った違反行為
- (b) 相手の各種スローに対する違反
- (c) ボールの所持が相手チームに移る判定があったときに、ボールを床に置かなかった場合
- (d) 相手が 7 m スローの準備を終えたときに、ゴールキーパーが交代しようとした場合

1 1 6. A14 は (笛の合図なしに) フリースローをしようとしており、味方のプレーヤーもそれぞれ正しい地点に立っている。A14 がボールを手から離す前に A13 と A15 がフリースローラインを踏み越えた。

- (a) 誤った位置を訂正
- (b) 笛の合図の後に A チームのフリースロー
- (c) そのまま競技を続行
- (d) B チームのフリースロー

117. B チームのフリースローライン際で A チームがボールを所持していた（明らかな得点チャンスではない）。TD は競技を中断し、コーチ B から侮辱を受けたとレフェリーに説明した。
- (a) コーチ B に注意（ブルーカードを提示する）
 - (b) コーチ B を失格（ブルーカードを提示する）
 - (c) B チームの交代地域前から A チームのフリースローで競技を再開
 - (d) B チームのフリースローライン際から A チームのフリースローで競技を再開
118. B チームのフリースローラインの内側で A チームがボールを所持していた。タイムキーパーは競技を中断し、コーチ A から侮辱を受けたとレフェリーに説明した。
- (a) 報告書を作成
 - (b) コーチ A を 2 分間退場とし、報告書を作成
 - (c) B チームの交代地域前から A チームのフリースローで競技を再開
 - (d) 競技の状況に相応しいスローを A チームが行って競技を再開
119. B チームのスローオフの直後、レフェリーは記録用紙に記載されていない人物 M が B チームの交代地域にいるのに気づいた。M は B チームの理事のひとりであることが判明したが、記録用紙には別の 4 名のチーム役員が記載されていた。
- (a) M は交代地域から去らなければならない。
 - (b) B チームのチーム責任者に罰則を適用する。
 - (c) 余計なチーム役員 1 名が交代地域から去らなければならない。
 - (d) A チームのフリースローで競技を再開する。
120. スポーツマンシップに反する行為と見なされるものはどれか。
- (a) 静止している防御側プレーヤーの顔にボールをぶつける。
 - (b) ゴールキーパーが露骨に 7 m スローを止めようとししない。
 - (c) プレーヤーが違反されていないにもかかわらず、レフェリーを欺くためにいかにも違反されたかのように見せかける。
 - (d) 防御側プレーヤーが足の膝より下の部位でシュートを積極的に妨害する。
 - (e) 戦術的な理由で、繰り返しゴールエリアに侵入する。
 - (f) 違反された後に報復行為をする。

1 2 1. ボールは味方のプレーヤーにあたって、ゴールエリアに跳ね返ってきた。ゴールキーパー A1 はゴールエリアからジャンプして空中でボールをキャッチし、ボールをしっかりと持ったままゴールエリアの外に着地した。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) A チームのゴールキーパーズロー
- (c) B チームのフリースロー
- (d) B チームの 7 m スロー

1 2 2. ゴールキーパー B はゴールキーパーズローを行った。ボールはレフェリーにあたり、その間にゴールエリア外に出たゴールキーパー B は跳ね返ってきたボールをキャッチした。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) ゴールキーパーズローを再度実施
- (c) A チームのフリースロー
- (d) 笛の合図の後に B チームのフリースロー

1 2 3. 失格（ブルーカードを提示する）となるのはどの場合か。

- (a) 休憩時間中のコート上での暴力行為
- (b) あまりに無謀な、またはあまりに危険な行為
- (c) 違反された後の報復行為
- (d) 競技の状況とかけ離れた意図的で悪質な行為

1 2 4. スローオフに関して、誤った記述はどれか。

- (a) スローオフは、コート中央から相手陣に向けて、笛の合図から 3 秒以内に行わなければならない。
- (b) スローオフから直接、得点することはできない。
- (c) スローオフを行うとき、相手が不正な位置にいてもスローオフを行うチームにとって不利にならない場合は、これを正す必要はない。
- (d) 笛の合図の後にスローオフを行うプレーヤーがボールをドリブルした場合は、相手チームにフリースローを与える。
- (e) スローオフを行うプレーヤーの味方のプレーヤーは、スローが行われるまでセンターラインを越えてはならない。

125. A チームが得点をあげた。B チームはクイックスローオフを行うため、B5 はすぐにセンターラインに向かってボールをドリブルしていった。B5 が A3 の前を通り過ぎようとしたとき、A3 は開いた片手で B5 からボールを払い落とした。ボールは B5 の足にあたり、センターラインを越えて、相手陣の遠くまで転がっていった。

- (a) タイムアウト
- (b) B チームのスローオフ
- (c) A3 に段階的罰則を適用
- (d) B チームのフリースロー

126. A3 が A9 へのパスに失敗し、ボールは A チームの交代ベンチ近くのサイドラインに向かって転がっていった。1m 前で B10 がボールを待ち構えていたので、A9 はボールに飛びつき、コート中央に向けてボールをこぶしでたたいて A3 に戻した。その後、A9 は勢い余ってサイドラインを滑り越えた。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) B チームのフリースロー
- (c) A9 を警告または 2 分間退場
- (d) B チームのスローイン

127. ゴールキーパー B16 は A7 へのロングパスをインターセプトするために、ゴールエリア内でジャンプした。B16 は空中でボールをキャッチし、それからボールを持ったまま着地したが、片足はゴールエリア内、他方の足はゴールエリア外であった。この位置から B3 へボールを投げた。

- (a) A チームの 7 m スロー
- (b) そのまま競技を続行
- (c) A チームのフリースロー
- (d) 位置を訂正し、笛の合図の後にゴールキーパーズスロー

128. ゴールキーパーズスローに関して、正しい記述はどれか。

- (a) ゴールキーパーがボールを手から離れたときに、ゴールキーパーズスローを行ったと見なす。
- (b) 相手は 3 m の距離を確保しなければならない。
- (c) ゴールキーパーの投げたボールがゴールエリアラインを越えたときに、ゴールキーパーズスローを行ったと見なす。
- (d) 相手はゴールエリアラインに際に立つことができる。

129. A3 が 7 m スローを行おうとしていた。レフェリーが笛で合図した後、A3 がボールを手から離す前に A5 はフリースローラインを踏んだ。

- (a) 7 m スローを再度実施
- (b) B チームのフリースロー
- (c) B チームのゴールキーパーズスロー
- (d) A5 に段階的罰則を適用

130. B9 が 7 m スローを成功させ、B チームは得点をあげた。レフェリーの笛の合図後、A チームはすぐにスローオフを行い、2 回のパスで A4 の得点に結びつけた。そのときタイムキーパーは笛を吹き、「ベンチに戻っている B9 は、7 m スローの時点で退場時間がまだ 20 秒残っていた」と説明した。

- (a) B チームの 7 m スローを再度実施
- (b) B9 に 2 分間退場を追加
- (c) 両チームの得点は有効
- (d) 両チームの得点は無効

131. 競技中、A チームのコーチは戦術を与えるためにオフィシャル席のすぐ傍まで繰り返し近づいた。そうこうするうちに、A チームのコーチはそこからレフェリーの判定に抗議したが、場内の騒音でレフェリーは抗議に気付かなかった。

- (a) タイムキーパーは直ちに競技を中断し、コーチの違反行為をレフェリーに知らせる。
- (b) タイムキーパーは次の競技の中断まで待ち、コーチの違反行為をレフェリーに知らせる。
- (c) コーチに段階的罰則を適用する。
- (d) 罰則を適用しない。

132. A チームが得点をあげた後、B チームがスローオフを行おうとしていた。ゴールキーパー B1 はセンターラインに向けて直ちにボールを投げた。B6 はボールをキャッチし、コート中央で片足をセンターライン上に、他方の足を自陣に置いて立った。レフェリーが笛を吹いたとき、B チームのサイドには何名かの A チームのプレイヤーが残っていた。B6 はボールを手から離す前に相手陣に走り込んだ。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) A チームのフリースロー
- (c) A チームの位置を正して、笛の合図の後にスローオフを再度実施
- (d) B6 の位置を正して、笛の合図の後にスローオフを再度実施

1 3 3. A9 は、完全にノーマークの状態です B チームのゴールエリアライン際に立ってパスを待っている。このチャンスに気づいたサイドプレイヤー A10 は、A9 にゴールエリアを横切るバウンドパスを出した。このピンチに気づいた防御側プレイヤー B3 は、完全に両足ともゴールエリア内に踏み込んで、パスを妨害した。B3 のこの行為は、この試合で 2 回目であった。

- (a) A チームのフリースロー
- (b) A チームの 7 m スロー
- (c) B3 に段階的罰則の適用

1 3 4. 後半残り 1 5 秒の場面で A チームがスローオフを行おうとしていた。レフェリーは笛を吹いて合図をしたが、スローを行うプレイヤーはまだボールを手から離していなかった。A3 は笛の合図の後にセンターラインを越えて走り込んだ。A3 にパスが渡るのを妨害するため、B5 は後方から A3 を引き倒した。

- (a) B5 を 2 分間退場
- (b) B5 を失格
- (c) A チームのフリースロー
- (d) A チームの 7 m スロー
- (e) A チームのスローオフ
- (f) ブルーカードを提示し、試合後、報告書を作成

1 3 5. 後半が終了し、20 対 20 の同点であった。競技を続けて勝敗を決定しなければならない。

- (a) 1 分の休憩時間の後に延長戦を開始
- (b) 5 分の休憩時間の後に延長戦を開始
- (c) 延長戦の前後半の間の休憩時間は 1 分間
- (d) 延長戦の前後半の間の休憩時間は 5 分間

1 3 6. 競技の残り時間について、レフェリーの判断が異なった。第一レフェリーであるゴールレフェリーはまだ 50 秒残っていると言ひ、コートレフェリーは 42 秒だと言った。

- (a) 長い方を適用する (50 秒)。
- (b) 第一レフェリーであるゴールレフェリーが決定する (50 秒)。
- (c) コートレフェリーの判断を採用する (42 秒)。
- (d) 両レフェリーは協議して決定しなければならない。

137. A9 がプレーイングエリアにいるゴールキーパー A1 にパスをしようとした。A9 は相手にパスコースを狭められていたため、パスが高くなりすぎた。その結果、A1 は後ろに下がらなければならず、ボールをキャッチした直後に片足がゴールエリア内に入った。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) タイムアウト
- (c) B チームの 7 m スロー
- (d) B チームのフリースロー

138. A7 は 3 回目の 2 分間退場により失格となった。その直後、A7 はレフェリーに異議を唱えて、コートから去らなかった。

- (a) 罰則を追加しない。
- (b) A チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす。
- (c) A チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす。

139. B8 は不正交代のために 2 分間退場となった。競技が再開されて 2 秒後、B8 はスポーツマンシップに反する態度を示し、ベンチに腰を下ろしたままレフェリーに文句を言った。

- (a) B8 に 2 分間退場を追加する。
- (b) B8 を失格とする。
- (c) B チームはコート上のプレーヤーを 1 分 58 秒間 2 名、その後も 2 秒間 1 名減らして競技する。
- (d) B チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らして競技する。
- (e) A チームにフリースローを与える。
- (f) タイムアウトを取る。

140. チームタイムアウトについて正しい記述はどれか。

- (a) チーム責任者だけがチームタイムアウトを請求できる。
- (b) 相手チームがボールを所持しているときにチームタイムアウトの請求があった場合、タイムキーパーはチーム役員にグリーンカードを返さなければならない。
- (c) 1 分間のチームタイムアウト時間はタイムキーパーが笛を吹いたときから計測し始める。
- (d) チームタイムアウトの違反は、競技時間中の違反と同等に判定する。
- (e) チームタイムアウトの終了後、常にチームタイムアウトを請求したチームのスローで競技を再開する。

1 4 1. フリースローを行う位置に関する正しい記述はどれか。

- (a) 相手チームへのフリースローが判定されたときに直ちにボールを床に置かなかった場合、相手はボールのある位置からスローを行ってよい。
- (b) 不正交代の場合、交代地域前よりも（スローを行うチームにとって）有利な位置にボールがあったときは、ボールのあった位置からフリースローを行う。
- (c) パッシブプレーの違反の場合、フリースローが判定されたときにボールのあった場所からフリースローを行う。
- (d) センターラインからフリースローを行うとき、横方向の許容範囲はスローオフの場合と同じである。

1 4 2. ポストプレーヤー B10 が防御側プレーヤーA2 と正当に競り合っていた。B10 が移動できる状態になったとき、B4 は B10 が入り込めるスペースにバウンドパスを出した。B10 が移動してボールをキャッチしようとしたとき、A2 は B10 のユニホームをつかんで引き止めた。

- (a) B チームのフリースロー
- (b) A チームのプレーヤーの位置に関係なく、B チームの 7 m スロー
- (c) B10 のシュートを正当に阻止できる A チームのプレーヤーが他にいなかった場合は、B チームの 7 m スロー
- (d) A2 に段階的罰則の適用
- (e) A2 を直接の失格

1 4 3. B チームは 6 名で競技していた。B チームのプレーヤーは攻撃隊形を整え、組立て局面に入っていた。この段階で、B6 と B8 は交代のためにコートから出ることにした。

- (a) パッシブプレーの予告合図
- (b) 5 秒以内に攻撃のペースが上がらなければパッシブプレーの予告合図
- (c) パッシブプレーの違反により、直ちに A チームのフリースロー
- (d) 繰り返しであった場合には B6 または B8 を警告
- (e) 繰り返しであった場合には B6 または B8 を 2 分間退場

1 4 4. どのような場合にパッシブプレーの予告合図が無効となるか。

- (a) ゴールキーパーが 7 m スローを止めた後、攻撃側チームが再びボールを所持したとき
- (b) ボールがクロスバーかゴールポストにあたって跳ね返り、攻撃側チームが再びボールを所持したとき
- (c) チームタイムアウトのとき
- (d) チームが再び消極的になる前に、力強いプレーを行ったとき
- (e) 上記(a)～(d)のいずれでもない

1 4 5. B チームがボールを所持していた。B チームのコーチがレフェリーの判定に抗議して椅子をコートに投げ入れたため、TD が競技を中断した。B チームのチーム役員は、これまで何の罰則も適用されていなかった。競技が中断されたとき、B7 は明らかな得点チャンスを得ていた。

- (a) B チームのコーチを警告
- (b) B チームのコーチを 2 分間退場
- (c) B チームのコーチを失格
- (d) A チームのフリースロー
- (e) B チームの 7 m スロー
- (f) 報告書を作成

1 4 6. 相手のゴールへと独走している A15 に向けて、ゴールキーパー A1 はロングパスを出した。ゴールキーパー B12 は自陣のゴールエリアを離れ、ジャンプしてボールをキャッチし、そしてジャンプ中の A15 と衝突した。両プレーヤーは負傷して倒れた。

- (a) タイムアウトを取り、A15 を 2 分間退場
- (b) タイムアウトを取り、B12 を 2 分間退場
- (c) タイムアウトを取り、B12 を失格
- (d) A チームのフリースロー
- (e) B チームのフリースロー
- (f) A チームの 7 m スロー

1 4 7. 7 m スローコンテストに参加できないのは誰か。

- (a) 延長戦の終了直後にレフェリーを侮辱したプレーヤー
- (b) ゴールキーパー
- (c) 延長戦の終了時点で 2 分間の退場時間が満了していないプレーヤー
- (d) 失格となったプレーヤー

1 4 8. A チームのゴールキーパーが競技の終了の 5 秒前にシュートを止め、ボールはゴールエリア上の天井にあたった。B チームがスローインを行う直前に自動終了合図があった。

- (a) 笛の合図の後にスローイン
- (b) タイムアウト
- (c) 競技の終了
- (d) スローインの結果が確定してから競技の終了

149. 競技の終了直前、A チームが 22 対 21 でリードしているとき、A12 は規則に違反することなく、自チームのゴールの方向にスローオフを行った。しかし、レフェリーが笛で合図した後、スローが行われるまでの間に、味方のプレーヤーはセンターラインを越えて相手陣に走り込んでいた。そのため、スローオフで投げられたボールは、ゴールエリア内にいた A1 にも触れずに、A チームのゴールの中に入った。

- (a) B チームの得点
- (b) B チームのフリースロー
- (c) スローオフを再度実施
- (d) A12 に段階的罰則を適用
- (e) タイムアウト

150. 7 m スローコンテストの参加資格について正しい記述はどれか。

- (a) 記録用紙に記載してあるすべてのプレーヤーが参加できる。
- (b) 失格となったプレーヤーは参加できない。
- (c) 延長戦が終了したとき 2 分間退場中でないプレーヤーは参加できない。
- (d) レフェリーの許可を得たプレーヤーだけが参加できる。

151. A チームがスローオフを行おうとしていた。コートレフェリーがスローオフの合図の笛を吹いた。A13 は、A7 と A3 が相手陣の半ばまで走っていて有利な場所にいると分かったので、スローオフをしようとしていた A9 からボールを奪い取って A7 にボールを投げた。A7 はシュートを決めた。

- (a) A チームの得点
- (b) 誤りを正し、A チームのスローオフを再度実施
- (c) B チームのフリースロー
- (d) A13 に口頭で注意
- (e) A13 と A7 に口頭で注意

152. 前半の終了合図の笛が 1 分早かった。笛が鳴ったとき、どちらのチームもボールを所持していなかった。また、競技規則違反もなかった（ボールはプレーイングエリアの床の上にあった）。両チームはまだコート内に残っていた。

- (a) その 1 分は競技しない。
- (b) その 1 分は休憩時間の前に競技する。
- (c) その 1 分は休憩時間の後、後半が始まる前に競技する。
- (d) その 1 分は後半の競技時間に付加する。
- (e) その 1 分を競技するとき、どちらのチームがボールを所持するかは、コイントスで決定する。
- (f) 競技を再開するときは、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する。

153. 前半が1分早く終了した。そのとき、競技規則違反はなく、ボールはゴールエリア上の空中にあった。笛の合図の直後にゴールキーパーがボールをキャッチした。両チームのプレーヤーはまだコート内に残っていた。

- (a) その1分は競技しない。
- (b) その1分は休憩時間の前に競技する。
- (c) その1分は休憩時間の後、後半が始まる前に競技する。
- (d) その1分は後半の競技時間に付加する。
- (e) 競技を始めるときは、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する。
- (f) ゴールキーパーで競技を再開する。

154. Aチームのコーチは自チームへの判定に対して大声で「馬鹿野郎！」と抗議した。Aチームの別のチーム役員は10分前に既に警告となっていた。

- (a) スポーツマンシップに反する行為によりコーチを警告とする。
- (b) コーチを2分間退場とし、Aチームはコート上のプレーヤーを2分間1名減らす。
- (c) コーチを失格とし、Aチームはコート上のプレーヤーを2分間1名減らす。
- (d) タイムアウトを取り、Aチームのチーム役員に処置を告げる。

155. 自動終了合図の後にフリースロー（最後の一投）を行うべき状況になった。B9は正しい位置につき、Aチームのゴールヘシュートを打とうとした。B9がボールを手から離れた瞬間に、タイムキーパーが笛を吹いた。この笛によってゴールキーパーはプレーを止めたため、ボールはゴールの中に入った。タイムキーパーは「今、コート内にいる防御側プレーヤーA7は、フリースローの実施直前に交代してコートに入場したのだ」と説明した。

- (a) A7を2分間退場
- (b) A7を失格
- (c) Bチームの得点
- (d) 7mスロー
- (e) 笛の合図の後にフリースローを再度実施

156. B21がオーバーステップをしたため、レフェリーは笛を吹いた。B21は直ちにAチームのゴールエリアライン際にボールを置いた。ゴールキーパーA16は早くフリースローを行いたかったので、足をゴールエリア内に残したまま、プレーイングエリアに片手をつけて体を支え、この姿勢でボールをつかんでA3に投げた。A3は速攻でシュートを決めた。

- (a) 笛の合図の後にフリースローを再度実施
- (b) Aチームの得点
- (c) Aチームのフリースローは違反であり、Bチームのフリースロー
- (d) タイムアウト

157. パッシブプレーの予告合図（ジェスチャー 17）に関して正しい記述はどれか。

- (a) パッシブプレーの兆候が見られたら、最初にコートレフェリーがジェスチャー 17 を示す。続いてゴールレフェリーが同じように腕をあげる。
- (b) パッシブプレーの予告合図を出した後に攻撃側チームがチームタイムアウトを請求した場合、競技を再開するときには、パッシブプレーの予告合図を出す。
- (c) パッシブプレーの予告合図を出した後も、攻撃側チームにシュートを打とうという動きが見られない場合は、コートレフェリーまたはゴールレフェリーのどちらかがパッシブプレーの違反と見なして相手チームにフリースローを与える。
- (d) レフェリーは、パッシブプレーの予告合図を出した後、6 回目のパスやシュートを待つのではなく、攻撃のペースが明らかに上がっているか、あるいはゴールに向けた攻撃活動を展開するかを見極めなければならない。

158. ゴールキーパー A13 がゴールキーパーズローを行おうとしていた。B3 がゴールエリアに侵入して身体を接触させずに A13 のスローを妨害しようとした。この B3 の違反は 2 回目である。

- (a) A チームのフリースロー
- (b) 笛の合図の後にゴールキーパーズロー
- (c) B3 を警告
- (d) B3 を 2 分間退場
- (e) タイムアウト

159. 延長戦の終了後も同点であったため、大会規定により 7 m スローコンテストを行うことになった。A7 は第 2 延長の後半の 4 分 0 秒に 2 分間退場となった。チーム責任者は A7 に 7 m スローコンテストに参加するよう指名した。

- (a) A7 の参加は認められる。
- (b) A7 の参加は認められない。

160. レフェリーはタイムアウトを取って B8 を 2 分間退場とした。B8 はコートを出るとき、競技の再開前に、スポーツマンシップに反する態度でレフェリーに話しかけた。

- (a) B8 を 2 分間退場および 2 分間退場とする。つまり、B チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす。
- (b) B8 を 2 分間退場および 2 分間退場とする。つまり、B チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす。
- (c) B8 を 2 分間退場および失格とする。つまり、B チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす。
- (d) B8 を 2 分間退場および失格とする。つまり、B チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす。

1 6 1. どの場合にゴールキーパー스로なるか。

- (a) ボールを持っている攻撃側プレーヤーが、相手のゴールエリアに侵入した場合。
- (b) ボールを持っていない攻撃側プレーヤーが相手のゴールエリアに侵入し、これによって有利になった場合。
- (c) 攻撃側プレーヤーが相手のアウターゴールラインを越えてコート外にボールを出した場合。
- (d) ボールを持っているプレーヤーが自チームのゴールエリアに侵入した場合。

1 6 2. 得点が 26 対 26 のとき、A チームが速攻を仕掛けた。A5 は B チームのゴールエリアライン際からノーマークでシュートを打とうとしていた。その瞬間に、タイムキーパーが競技の終了合図の笛を吹いた。しかし、レフェリーは競技時間がまだ 20 秒残っていると判断した。

- (a) オフィシャル席の前から A チームのフリースロー
- (b) A チームの 7 m スロー
- (c) 記録用紙にその旨を特記
- (d) 笛が鳴ったときにボールのあった場所から A チームのフリースロー

1 6 3. どこからスローオフを行えるか。

- (a) センターラインの後方 3 m 以内の自陣から
- (b) センターラインの前方 3 m 以内の相手陣から
- (c) コートの中央でセンターライン上に片足を置いて（左右に 1.5 m ずつの許容範囲）
- (d) センターラインのちょうど中央に片足を置いて（許容範囲なし）

1 6 4. B3 はシュートを打った。誰もボールに触れることなく、ボールはゴールエリア内の床に止まった。このとき、B チームのチーム責任者がチームタイムアウトを請求した。

- (a) タイムキーパーは笛を吹くと同時に時計を止めて、B チームのチームタイムアウトをレフェリーに知らせる。
- (b) タイムキーパーは B チームのチーム責任者にグリーンカードを返す。
- (c) B チームのフリースローで競技を再開する。
- (d) A チームのゴールキーパー스로競技を再開する

165. A チームがスローオフを遅延させていた。A チームはこの戦術に対し、すでに注意を受けていた。

- (a) そのまま競技を続行
- (b) タイムアウトを取り、笛の合図の後にスローオフ
- (c) タイムアウトを取り、笛の合図の後にスローオフを行わせ、直ちにパッシブプレーの予告合図のジェスチャー
- (d) スローオフの笛の合図の後に、直ちにパッシブプレーの予告合図のジェスチャー
- (e) チーム責任者に段階的罰則の適用

166. A4 は B チームのゴールエリア内の床に転がっているボールに触れた。次の瞬間、B6 は A4 を押し倒した。

- (a) B6 に段階的罰則の適用
- (b) A チームのフリースロー
- (c) B チームのゴールキーパーズスロー
- (d) B チームのフリースロー

167. A チームのプレーヤーが負傷し、自力ではコート外へ出ることができないと申し出たので、レフェリーはコートへの入場許可を示すジェスチャーをした。誰がコート内に入ることを許されるか。

- (a) A チームから 2 名のチーム役員（他は誰も許されない）
- (b) A チームと B チーム両方から 2 名ずつのチーム役員
- (c) A チームから 2 名（チーム役員かプレーヤー）
- (d) A チームと B チーム両方から 2 名ずつ（チーム役員かプレーヤー）
- (e) A チームの医師（4 名のチーム役員に含まれていなくてもよい）

168. プレーヤーが相手チームのゴールエリア上に飛び込んだ。ボールも身体も十分にコントロールでき、絶好のシュートチャンスとなった。しかし、シュートを打たずに空中で向きを変え、味方のプレーヤーにボールを戻した。味方のプレーヤーはさらにパスをした。

- (a) パッシブプレーの予告合図
- (b) パッシブプレーの違反により、直ちにフリースロー
- (c) スポーツマンシップに反する行為により、直ちにフリースロー
- (d) 段階的罰則を適用

169. スローオフを行うプレーヤーの足は、どの位置が正しいか。

- (a) 少なくとも片足はセンターライン上
- (b) 他方の足はセンターラインの向こう側（相手陣内）
- (c) 他方の足はセンターラインの手前（自陣内）
- (d) 他方の足もセンターライン上

170. A チームのチーム役員は、抗議によりすでに警告となっていた。その後、A チームの他のチーム役員がレフェリーの許可を得ずにコート内に入場したが、スポーツマンシップに反する態度ではなかった。

- (a) 警告
- (b) チーム役員は 2 分間退場（2 分間ベンチから去らなければならない）
- (c) 失格
- (d) チーム役員の 2 分間退場（チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす）

171. A7 はスポーツマンシップに反する行為により、1 回目の 2 分間退場となった。競技の再開後、ベンチに下がった A7 はレフェリーの判定に納得できないことをジェスチャーで大げさにアピールした。

- (a) 失格とする。
- (b) 2 分間退場とする。A7 は 4 分間ベンチにいななければならない。
- (c) A7 を 2 回目の 2 分間退場とし、この退場を直ちに適用する。1 回目の退場時間が残っているため、チームはさらにコート上のプレーヤーを減らさなければならない。
- (d) 警告とする。交代地域内での罰則とコート内での罰則は区別して扱うため。

172. 必ずしもタイムアウトを取る必要がない状況はどれか。

- (a) ボールがコートから遠く離れたとき
- (b) タイムキーパーから笛の合図があったとき
- (c) プレーヤーが負傷したと思われるとき
- (d) どちらのチームがボールを所持するかについて、両レフェリーの判定が異なったとき

173. B チームのゴールキーパーは自陣のゴールエリア内にいた。B チームのゴールライン際でノーマークの状態となっている A8 に向かって、A チームのゴールキーパーがボールを投げた。ボールが A8 に渡る直前に、タイムキーパーから笛の合図があった。というのは、この不運なタイミングで A チームのコーチがチームタイムアウトを請求したからである。どのようにして競技を続行するべきか。

- (a) A チームのゴールエリア際から A チームのフリースロー
- (b) A チームの交代地域前から A チームのフリースロー
- (c) A チームの 7 m スロー
- (d) B チームのフリースローライン際から A チームのフリースロー

174. A チームの攻撃中であった。B4 はゴールエリアライン際に立っている。B4 は手を伸ばして空中にあるボールをゴールエリア内に向けてはたいた。ゴールキーパーがボールに触れた後、ボールはアウターゴールラインを通過してコートの外に出た。

- (a) A チームのスローイン
- (b) A チームのフリースロー
- (c) A チームの 7 m スロー
- (d) B チームのゴールキーパーズスロー
- (e) B4 に段階的罰則の適用

175. A6 は B3 に押された後、これ見よがしに B3 の目の前で床に唾を吐いた。A6 に適用しなければならない罰則はどれか。

- (a) 段階的罰則
- (b) 即座に 2 分間退場
- (c) 失格
- (d) 報告書を作成

176. 両チームのプレーヤーが衝突し、両レフェリーが笛を吹いた。コートレフェリーは攻撃側の違反を判定したが、ゴールレフェリーは防御側の違反を判定した。どのようにして解決しなければならないか。

- (a) ゴールレフェリーの判定を採用する。
- (b) コートレフェリーの判定を採用する。
- (c) 両レフェリーが協議した末に合意した判定を採用する。
- (d) 必ずタイムアウトを取る。
- (e) 合意した判定が攻撃側の違反であった場合だけ、タイムアウトが必要となる。
- (f) 両レフェリーが通信機器により交信できる場合は、必ずしもタイムアウトを取る必要はない。

177. チームがコート上のプレーヤーを4分間減らさなければならない状況はどれか。

- (a) 今、プレーヤーが失格となった。コートから出るとき、2分間退場に相当する態度で抗議した。
- (b) 今、プレーヤーが2分間退場となった。コートから出るときにレフェリーを侮辱し、失格となった。
- (c) 今、プレーヤーが相手に対するスポーツマンシップに反する行為により2分間退場となった。まだコート内にいる間に相手の顔を殴り、失格となった。
- (d) 今、プレーヤーがスポーツマンシップに反する行為により2分間退場となった。一旦、サイドラインを越えてコートを出た後、再びコートに戻って抗議した。レフェリーは2分間退場を追加した。
- (e) 今、プレーヤーが相手に唾を吐いて失格となった。コートから出るときにレフェリーを推した。
- (f) 今、プレーヤーが相手に危害を及ぼすような行為により失格となった。コートから出た後、競技の再開後に観客席に座ってレフェリーを侮辱した。

178. Aチームのゴールエリアのすぐ外側の床にボールが止まっていた。相手にボールを取られないように、ゴールキーパーA1はゴールエリア内からそのボールを拾い上げた。

- (a) Bチームのフリースロー
- (b) Bチームの7mスロー
- (c) A1に段階的罰則を適用
- (d) この行為は許されるため、判定不要

179. パッシブプレーに関する正しい記述はどれか。

- (a) 組立て局面から最終局面に至るまで、5秒以上は許されない。
- (b) スローオフの後、レフェリーはプレーヤーのゆっくりした交代や遅れた交代に注意を払わなければならない。
- (c) 組立て局面において、攻撃のペースを上げようとしているか、あるいは空間的に有利な状況を作ろうとしているかを、レフェリーは観察しなければならない。
- (d) チームが自陣でボールを所持したときから、レフェリーはパッシブプレーに気をつけなければならない。
- (e) 速攻を仕掛けたチームが、速攻から通常の間組立て局面に切替えたとき、レフェリーは通常の交代を認めなければならない。

180. 7 m スローの実施に関する正しい記述はどれか。

- (a) スローを行うプレーヤーは 7 m ラインの後方 1 m 以内に立つことが許される。
- (b) 防御側チームのゴールキーパーが交代する場合、レフェリーはタイムアウトを取らなければならない。
- (c) ゴールキーパーが繰り返し 4 m ラインを踏み越えた場合、段階的罰則を適用する。
- (d) 防御側プレーヤーは、スローを行うプレーヤーから必ず 3 m 以上離れていなければならない。

181. タイムアウトを取らなければならないのはいつか。

- (a) チーム役員が 2 分間退場となったとき
- (b) プレーヤーが 3 回目の 2 分間退場となったとき
- (c) スポーツマンシップに反する行為を繰り返したとき
- (d) 両レフェリーの協議が必要になったとき
- (e) 著しくスポーツマンシップに反する行為をしたとき

182. A3 は B チームのゴールに向かってシュートを打ったが、ボールはゴールポストにあたり、ゴールエリアから跳ね返ってきた。フリースローライン付近で、A3 と B4 は互いに危害を加えることなくボールに飛びついた。B4 はかろうじて B6 に向けてボールをはじき、B6 は速攻を開始しシュートを決めた。

- (a) 警告
- (b) B チームの得点
- (c) その状況に応じて A チームまたは B チームのフリースロー
- (d) ゴールキーパーズスロー

183. A5 は 7 分 0 秒に 2 分間退場となった。競技が再開される前に抗議をして、2 分間追加の退場となった。そのちょうど 1 分後に A5 はコート内に走り込み、タイムキーパーが笛を吹いた。A5 は不正入場により、さらに 3 回目の 2 分間追加の退場となったため、失格となった。その直後、この判定に対してレフェリーを侮辱した。

- (a) A チームはコート上のプレーヤーを 7 分 0 秒から 8 分 0 秒まで 1 名減らし、8 分 0 秒から 10 分 0 秒まで 2 名減らし、10 分 0 秒から 11 分 0 秒まで 1 名減らす。
- (b) A チームはコート上のプレーヤーを 7 分 0 秒から 8 分 0 秒まで 1 名減らし、8 分 0 秒から 11 分 0 秒まで 2 名減らし、11 分 0 秒から 12 分 0 秒まで 1 名減らす。
- (c) A チームはコート上のプレーヤーを 7 分 0 秒から 8 分 0 秒まで 2 名減らし、8 分 0 秒から 10 分 0 秒まで 3 名減らし、10 分 0 秒から 11 分 0 秒まで 2 名減らす。
- (d) A チームはコート上のプレーヤーを 7 分 0 秒から 8 分 0 秒まで 2 名減らし、8 分 0 秒から 10 分 0 秒まで 4 名減らし、10 分 0 秒から 11 分 0 秒まで 2 名減らす。

184. A5 はボールを持って右サイドから B チームのゴールエリア上に飛び込み、ゴールエリアラインから約 50 cm 内側で、ゴールエリアの中で腕を上げて立っていた B11 と衝突した。B11 のこの行為は、これで 3 回目であった。

- (a) A チームの 7 m スロー
- (b) 攻撃側の違反
- (c) B11 を 2 分間退場
- (d) B11 を警告

185. 競技の終了 4 秒前で、得点は 30 対 30 であった。ビジターチーム A が得点をあげて 31 対 30 とした。ホームチーム B は素早くスローオフを行おうとした。B10 は片足をセンターラインの手前に、他方の足をセンターラインの向こう側に置いた。そして笛の合図なしに、B10 は A チームのゴールの中にボールを投げ入れた。それから、自動終了合図があった。

- (a) B チームの得点とする。
- (b) スローオフを再度実施する。
- (c) スローの結果を待つ。
- (d) タイムアウトを取る。
- (e) B チームの得点を認めず、競技の終了とする。

186. 自殺点（オウンゴール）となりえないスローはどれか。

- (a) ゴールキーパースロー
- (b) フリースロー
- (c) スローイン
- (d) スローオフ

187. A6 は速攻で走っており、明らかな得点チャンスとなっていたときに競技場の照明が消えた。

- (a) レフェリーは明らかな得点チャンスの結果を待つ。
- (b) レフェリーは直ちに競技を中断し、タイムアウトを取る。
- (c) 照明が復旧した後、A チームのフリースローにより競技を再開する。
- (d) 照明が復旧した後、A チームの 7 m スローにより競技を再開する。

188. A チームは 10 名のプレーヤーしかいなかったため、コーチがプレーヤーを兼務していた。コーチの任務を遂行していたときに、警告および 2 分間退場となっていた。その後、今後はプレーヤーをして出場した直後に、レフェリーの判定に再び抗議した。A チームの他のプレーヤーには罰則は適用されていなかった。

- (a) 警告
- (b) 2 分間退場
- (c) 失格

189. A4 は B11 のシュートをブロックした。ボールはゴールエリア上の天井にあたった。この直後に、B チームのコーチはオフィシャル席の机の上にグリーンカードを置いた。

- (a) 直ちに B チームにチームタイムアウトを与える。
- (b) ボールが天井にあたったため、B チームにチームタイムアウトを与えられない。
- (c) A チームがボールを所持して競技を再開するため、B チームにチームタイムアウトを与えられない。
- (d) 競技の再開後に B チームにチームタイムアウトを与える。

190. A チームのチーム責任者はベンチにいるときに、すでに警告となっていた。その後、交代地域を去って観客席に移った。そして観客席からスポーツマンシップに反する態度でレフェリーの判定に抗議をし続けた。

- (a) 罰則の適用は不可能
- (b) 2 分間退場
- (c) 失格
- (d) 報告書を作成

191. A9 は B チームのゴールに向かってシュートを打った。ゴールキーパー B1 はシュートを止めたが、ボールは B チームのプレイヤーが待ち構えているプレーイングエリアに向かって転がっていった。ゴールキーパー B1 はシュートを止めたときに負傷したので、ボールがゴールエリア内にある時点でレフェリーは競技を中断した。
- (a) A チームのフリースロー
 - (b) B チームのゴールキーパーズロー
 - (c) B チームのフリースロー
192. B4 は正しい位置についてスローインを行おうとしていた。パスをする味方のプレイヤーが見つからなかったため、サイドラインの内側でボールを 1 回はずませた。
- (a) 再開の合図なしに A チームのフリースロー
 - (b) 再開の合図の後に A チームのスローイン
 - (c) 再開の合図の後に B チームのスローインを再度実施
 - (d) 再開の合図の後に B チームのフリースロー
193. ボールは A チームのゴールエリア内を転がっていた。このとき、タイムキーパーが笛を吹き、A5 が不正交代をしたと説明した。
- (a) ゴールキーパーズロー
 - (b) A5 を 2 分間退場
 - (c) フリースローライン際から B チームのフリースロー
 - (d) A チームの交代地域前から B チームのフリースロー
194. B6 は警告となった。A チームのフリースローにより競技を再開するため、コートレフェリーが笛を吹いたが、ゴールエリアラインとフリースローラインの間にいた A11 を見逃してしまった。A11 はボールをキャッチし、明らかな得点チャンスとなった。ゴールレフェリーはこの事象を見ていた。
- (a) そのまま競技を続行する
 - (b) 位置を正し、笛の合図の後にフリースローを再度実施する。
 - (c) ゴールレフェリーが B チームへのフリースローを判定する。
 - (d) ゴールレフェリーが A11 を警告とする。
 - (e) タイムアウトを取る。

195. 前半の競技終了の合図の後にフリースローを行わなければならない場合、どのプレーヤーが交代できるか。

- (a) 両チームのすべてのプレーヤー
- (b) 複数名の防御側プレーヤーだけ
- (c) 複数名の攻撃側プレーヤーだけ
- (d) 1名の攻撃側プレーヤーだけ

196. 競技の終了合図の後にフリースローを行う場合、プレーヤーはどの位置にいないといけないか。

- (a) スローを行うプレーヤーの味方の全プレーヤーは、相手のフリースローラインの外側にいないといけない。
- (b) スローを行うプレーヤーの味方の全プレーヤーは、自陣のコートにいないといけない。
- (c) 相手は、スローを行うプレーヤーから 3 m 以上離れるか、あるいは自陣のゴールエリアライン際にいないといけない。
- (d) 味方の全プレーヤーは、スローを行うプレーヤーから 3 m 以上離れなければならない。
- (e) 味方の全プレーヤーは、スローを行うプレーヤーと一緒に相手のフリースローライン際にいてもよい。

197. 攻撃側プレーヤー A7 は味方のプレーヤー A8 にパスをした。このとき、A チームのチームタイムアウトの請求により、タイムキーパーは笛を吹いた。両レフェリーとプレーヤーはこの笛の合図に気づかず、A8 は A10 にパスをし、明らかな得点チャンスとなった。A10 は B5 により不当に防御された。レフェリーは A チームへの 7 m スローを判定し、B5 を 2 分間退場とした。チームタイムアウトの請求によりタイムキーパーがすでに笛を吹いていたことを、レフェリーはこの時点になって知った。

- (a) A チームに 7 m スロー
- (b) B5 を 2 分間退場
- (c) A チームのチームタイムアウト
- (d) B チームのゴールキーパーズスロー
- (e) 競技の再開の合図
- (f) タイムキーパーが笛を吹いたときに A7 のいた位置から A チームのフリースローで競技を再開

198. レフェリーは A チームへのフリースローを判定した。再開の合図なしに、A5 は全力で走りながら素早くフリースローを行った。A5 が A4 に向かってボールを投げたが、B3 がそのボールをインターセプトし、A チームのゴール前でノーマークの状態となった。
- (a) そのまま競技を続行
 - (b) 再開の合図の後にフリースローを再度実施
 - (c) B3 に段階的罰則を適用し、A チームのフリースローを再度実施
199. 速攻中の B99 に向かって、ゴールキーパー A12 がゴールエリアを飛び出した。A12 は B99 の側方から近寄ってつかまえたが、B99 はボールをキャッチして無人のゴールに投げ入れた。
- (a) スローオフ
 - (b) タイムアウト
 - (c) A12 を失格
 - (d) A12 を 2 分間退場
 - (e) B チームの 7 m スロー
200. 速攻中の A4 に向けて、ゴールキーパー A16 はゴールキーパーズローによりロングパスを出した。A4 はジャンプしてボールをキャッチした直後、速攻を阻止しようとしてゴールエリアを離れたゴールキーパー B1 と衝突した。衝突のとき、B4 はフリースローラインの前にいて防御可能な状態であった。衝突した後、A4 は身体のコントロールを失って倒れた。
- (a) 攻撃側の違反により B チームのフリースロー
 - (b) A チームのフリースロー
 - (c) A チームの 7 m スロー
 - (d) B1 に段階的罰則を適用
 - (e) B1 を失格
201. 前半の 29 分 0 秒に、A5 は 2 分間退場となった。ハーフタイム休憩の後、コートレフェリーは笛を吹いて後半を開始させた。その 3 秒後、タイムキーパーが笛を吹いて「A5 はベンチに下がっているが、A チームのプレイヤーがコート上に 7 名いる」と伝えた。
- (a) A チームのプレイヤー 1 名がコートから去らなければならないが、罰則は付加されない。
 - (b) A チームのプレイヤー 1 名を 2 分間退場とする。
 - (c) さらにもう 1 名のプレイヤーが 57 秒間コートから去らなければならない (A チームは 2 名減らす)。

202. A15 が得点を挙げ、スローオフが実施された後、タイムキーパーが競技を中断した（後半の 13 分 27 秒）。タイムキーパーは「A15 は記録用紙に記載されていない」とレフェリーに伝えた。記録用紙には A チームのプレーヤー14 名が記載されていたが、そのなかの A11 は競技の開始時からいなかったことが判明した。

- (a) 得点を取り消す。
- (b) 得点は有効である。
- (c) A11 を削除し、代わりに A15 を記録用紙に記入する。
- (d) A15 は競技への参加資格がなく、コートから去らなければならない。
- (e) A チームのチーム責任者に段階的罰則を適用する。
- (f) 記録用紙に特記する。

203. 競技規則により、レッドカードの後、ブルーカードを提示する失格となる違反はどれか。

- (a) プレーヤーが相手に唾を吐いて命中させる。
- (b) チーム役員が自チームに試合を放棄させる。
- (c) 7 m スローの実施に際して、ボールの方向へと移動させてはならないゴールキーパーの頭部にボールをぶつける。
- (d) レフェリーの判定の後、これ見よがしにプレーヤーが観客席にボールを投げ入れる。
- (e) コート外で、プレーヤーが観客に唾を吐いて命中させる。
- (f) プレーヤーが意図的に相手の腹部を殴る。

204. A チームがボールをまわして攻撃を展開している。そのとき TD が A チームはコート上にゴールキーパーが 1 名いるにもかかわらず、コートプレーヤーが 7 名いることに気づいた。最後にコートに入ったコートプレーヤーを把握できなかった。

- (a) タイムアウト
- (b) A チームの交代地域の前から B チームのフリースロー
- (c) チーム役員が退場となるプレーヤーを指名する。
- (d) そのままプレーを続行し、次の競技の中断の時に TD がレフェリーに知らせる。
- (e) A チームのコートプレーヤーは 6 名で再開する。
- (f) A チームのコートプレーヤーは 5 名で再開する。

205. チームタイムアウトのあと、レフェリーが競技再開の笛を吹いた。しばらくしてから、TD は A チームはゴールキーパー 1 名、コートプレーヤー 7 名がコート上にいることに気づいた。

- (a) 6 名に戻して、チームタイムアウトの後の状況から競技を再開する。
- (b) タイムアウトの後、A チームのチーム役員は退場となる選手を指名しなければならない。
- (c) チーム役員が退場となるプレーヤーを指名できなければ、罰則を与える。
- (d) チーム役員が退場となるプレーヤーを指名しないときは TD またはレフェリーが指名する。

206. B チームの攻撃中にタイムキーパーが隣に座っている TD に対して、「先ほど B チームのチーム役員から『タイムアウトの後、時計が止まっていなかっただろ！しっかり働かんか！馬鹿野郎が！』と強く言われました。」と報告を受けた。その TD はその場面を確認していなかった。

- (a) タイムアウト
- (b) B チームのチーム役員に罰則を与える
- (c) もはやなにもできない

207. A チーム申請のチームタイムアウト中、B チームのチーム役員がタイムキーパーに対して、「得点を相手チームに入れることが多すぎる！何度も失敗するな！馬鹿野郎が！」と発言した。TD はこの一連の流れを把握していた。

- (a) タイムキーパーに対しての発言なので、何もできない。
- (b) TD がチーム役員に罰則を与える。
- (c) TD はレフェリーを呼び、チーム役員に対して罰則を与えるように促す。

208. A チームの攻撃中、A チームのチーム役員がグリーンカードを持ち、コーチングゾーンを越えて TD のもとへきた。彼は一度カードを TD に差し出し、手渡そうとしたが、直前でカードを引き戻し、TD へ渡さなかった。A チームは攻撃を展開している。

- (a) TD は笛を吹き、時計を止める。
- (b) A チームのチーム役員に罰則を与える。
- (c) A チームのフリースロー
- (d) B チームのフリースロー
- (e) A チーム申請のチームタイムアウト

209. B チームの攻撃中、B チームのチーム役員がグリーンカードを持ち、コーチングゾーンを越えて TD のもとへきた。彼がカードをテーブルに置こうとした際、ボールが A チームへと渡り、置いたときには B チームの所持になっていた。

- (a) コーチングゾーンを越えたときにはまだ A チームの所持であったので、チームタイムアウトを認める。
- (b) TD は笛を吹き時計を止め、チームタイムアウトが無効であることを、明確に伝える。
- (c) TD は笛を吹いてはならず、チームタイムアウトを認めてはならない。
- (d) グリーンカードを返す。
- (e) グリーンカードは返せない。

210. A チームの攻撃中、コート上にいた A チームのゴールキーパー A1 とコートプレーヤー A7 が交代地域を利用して交代をした。A7 は A6 からボールを受け取って得点を決めた。

- (a) TD は笛を吹き、競技を中断させ、不正交代であることをレフェリーに告げる。
- (b) A チームの得点を認める

211. B チームはゴールキーパー不在で、コートプレーヤー 7 名で攻撃をしている。B7 がシュートを打ったがボールは A チームのゴールキーパー A12 によって阻止され、A12 より速攻に出た A3 へ投げられた。A3 はボールをキャッチしシュートしたが、そのシュートは帰陣してゴールエリア内にいた B チームのコートプレーヤー B6 によって阻止された。

- (a) B チームの 7m スロー
- (b) A チームの 7m スロー
- (c) そのまま競技を続行
- (d) B6 に罰則を与える
- (e) 罰則は不要

212. A チームがコートプレーヤー 7 名で攻撃している。A3 から投げられたパスを B4 がインターセプトした。B4 は無人になっているゴールに向けて直接シュートしたがシュートはゴールの真上を超え、得点とならなかった。

- (a) コート上にいるプレーヤーによってゴールキーパーズローが行われる。
- (b) A チームのコートプレーヤー 1 名はゴールキーパーと交代し、ゴールキーパーによってゴールキーパーズローを行わなければならない。
- (c) A チームのコートプレーヤー A4 によってゴールキーパーズローが行われたのであれば、A4 に罰則を与える。
- (d) レフェリーはゴールキーパーズローの実施にあたって必要と認めれば、タイムアウトを取ることができる。

2 1 3. B14 がコート上でスリップし倒れた。B14 は激しく頭部を床に打ち付けたため、レフェリーはタイムアウトを取り、治療が必要と判断し、ジェスチャー 16 (2 名までの入場許可) をした。

- (a) B チームのチーム役員はレフェリーの指示に従わなければならない、救護のため 2 名までをコートに入れなければならない。
- (b) B14 に続けて競技に参加してほしいのであれば、救護のための 2 名までをコートに入れる必要はない。
- (c) B チームのチーム役員がレフェリーの指示に従わないのであれば、B14 に罰則を与える。
- (d) B チームのチーム役員がレフェリーの指示に従わないのであれば、B チームのチーム責任者に罰則を与える。

2 1 4. A7 はシュートを打った後、ゴールエリア内に倒れ込んだ。レフェリーはタイムアウトを取り、A7 に「続けますか?」と尋ねた。A7 は「足をひねって動けません」と答えた。B チームに罰則はなかった。

- (a) A7 に罰則を与える。
- (b) レフェリーはジェスチャー 16 (入場許可) を示す。
- (c) A7 は治療のあとはそのまま競技を続けてよい。
- (d) A7 はコートから出なければならない。

2 1 5. 相手チームに罰則が適用されなかった場面で、選手が負傷し、コート上で治療を受けた場合について正しい記述はどれか。

- (a) 治療を受けた選手は、治療が終了した段階で再びコートへ戻るができる。
- (b) 治療を受けた選手は、次の自チームのチームタイムアウトが終了するまでコートに戻ることができない。
- (c) 治療を受けた選手は、自チームがその後 3 得点をすれば、コートに戻ることができる。
- (d) 治療を受けた選手が、自チームがその後 3 回の攻撃を完了すれば再びコートに戻ることができる。

2 1 6. B5 は罰則が適用されなかった A3 との接触によって負傷し、コート上で治療を受けた。B5 はその後 B チームの 2 回目の攻撃が完了した後、再びコートプレーヤーとして B10 と交代した。

- (a) B5 を 2 分間退場にする。
- (b) B5 は 3 回の攻撃が終了するまで、交代地域に戻りあと 1 回の攻撃が完了するまで待たなければならない。
- (c) そのまま競技を続行する

217. A13 は B5 のプッシングによりコート上に倒れた。B5 を 2 分間退場にした。A13 を治療させるためにレフェリーは A チームの役員 2 名をコートに入れる許可をした。

- (a) A13 は、コート上で速やかに治療が終われば、そのまま競技を続行できる。
- (b) A13 はコート外に出なければならず、再び戻れるのは、A チームの攻撃がその後 3 回完了してからである。
- (c) A13 はコート外で治療を受けても良いが、コートへはいつでも戻ることができる。

218. A チームのゴールキーパー A12 の頭部に B2 が放ったシュートが直撃した。A12 はその場に倒れ込み、レフェリーは A チームの役員に入場許可を与えた。

- (a) コート上での治療行為なので、A12 はコート外に出なければならない。
- (b) 治療が短時間で終わり、続行が可能であれば A12 はそのままコートに残ることができる。

219. B10 は床に転がっているルーズボールに飛び込み、その際手首を痛め、コートに倒れた。レフェリーはタイムアウトをとり、B10 に対し、「続けますか？」と尋ねた。B10 は、「自分で外に出ます。大丈夫です。」と答えた。

- (a) B10 は交代を求めているので、レフェリーはジェスチャー 16 (入場許可) をしなければならない。
- (b) B10 は交代するため、その後 B チームの攻撃が 3 回終了するまでコートに戻ることはできない。
- (c) コート上での治療を行っていないため、B10 はコート外での治療が完了すればいつでもコート内に戻ることができる。

解答および関連条文

1. b、c (1 : 3、12 : 1、14 : 9)
2. c (1 : 3)
3. c (2 : 4、14 : 1a)
4. b (2 : 4)
5. c (2 : 2 注)
6. d (2 : 7)
7. b、d (2 : 7、12 : 1、15 : 5b)
8. d (4 : 1、4 : 3)
9. a (4 : 1)
10. d、e (4 : 2)
11. a (4 : 1)
12. c、e (4 : 6、8 : 10b、14 : 1a、16 : 6b)
13. a、d (16 : 3a、4 : 5、13 : 3、解釈 7)
14. c、d (4 : 3、13 : 3、13 : 4)
15. a、d、e (4 : 3、8 : 10b、14 : 1a、
16 : 1b、16 : 3e、16 : 6b)
16. d (16 : 3a、4 : 4、4 : 6)
17. c (2 : 4、15 : 5)
18. d (4 : 2、4 : 11)
19. a (4 : 1)
20. c (11 : 1)
21. a、c (4 : 4、4 : 5、13 : 6、16 : 3a)
22. b、d (4 : 5、13 : 3、16 : 3a)
23. b、d (4 : 5、13 : 3、16 : 3a)
24. b、d (4 : 1、4 : 5、13 : 3、16 : 3a)
25. c、e (解釈 7)
26. a、b、c、f (4 : 5、8 : 10a、16 : 3a、
16 : 6d、16 : 8、16 : 9c)
27. d (4 : 5、14 : 2、16 : 3a)
28. a、c (4 : 6、13 : 1a、8 : 8、16 : 3f)
29. a、c (4 : 6、13 : 1a、16 : 3a)
30. d (4 : 6、14 : 1a、8 : 10b、16 : 6b、
16 : 8)
31. c (1 : 3、5 : 6、12 : 1、12 : 2、15 : 5b)
32. c (1 : 3、5 : 3、5 : 9、6 : 2b、13 : 1a)
33. c (5 : 6)
34. b (5 : 10、13 : 1a)
35. b (2 : 8a、8 : 10a、14 : 1c、16 : 6d)
36. c (5 : 10、13 : 1a)
37. b、d (13 : 7、15 : 7、13 : 1a)
38. a (6 : 5)
39. c、d (12 : 1、12 : 2、15 : 5、15 : 9、
16 : 1a)
40. d (6 : 7b、13 : 1a)
41. c (15 : 2、14 : 1a)
42. b (7 : 3a)
43. a (7 : 3d、7 : 3 注)
44. c (6 : 7b、13 : 1a)
45. b (7 : 7、7 : 3、7 : 4)
46. a、b、e (2 : 5、4 : 5、16 : 3a)
47. b (7 : 7、13 : 1a)
48. b (7 : 7、13 : 1a)
49. b、d (7 : 8、9 : 1、13 : 2、16 : 1b)
50. c (12 : 1)
51. b (7 : 9、11 : 1)
52. b、e (8 : 2a、14 : 1a)
53. d (8 : 3c、16 : 1a、14 : 1a)
54. b、c (8 : 5 注、16 : 6a、14 : 1a、
解釈 6b)
55. b、d (8 : 5、14 : 1a、16 : 6a)
56. a、e (4 : 10、8 : 4)
57. b、e (8 : 4b、16 : 3c、14 : 1a)
58. a、b (8 : 5、8 : 6、16 : 6a)
59. c (16 : 9)
60. c、d (2 : 4、8 : 10a、16 : 6b、14 : 1a)
61. c (8 : 10a、16 : 6b、16 : 9c)
62. b (9 : 1、7 : 8、13 : 2)
63. d (6 : 3b、9 : 1、13 : 2)
64. b (12 : 1、12 : 2、15 : 2)
65. c (9 : 1、14 : 2)

66. b、 d (9 : 1 注)
67. c、 e (9 : 1 注)
68. b (10 : 1)
69. a (10 : 3、 15 : 1)
70. a (11 : 4、 15 : 2)
71. a (11 : 4、 15 : 1、 15 : 5)
72. b (12 : 2)
73. b (11 : 1)
74. a (15 : 2)
75. a (15 : 5b、 15 : 9、 16 : 1a、 16 : 3b)
76. a、 b、 e (13 : 5、 15 : 5b、 8 : 8b、
16 : 3f)
77. a、 c、 e (2 : 8a、 14 : 1a、 8 : 10b、
16 : 6b)
78. b、 e (14 : 1a、 8 : 10b、 16 : 6b)
79. a、 d (4 : 5、 14 : 1a、 16 : 3a、 解釈 7)
80. a、 d (6 : 2c、 14 : 1a、 8 : 7f、 16 : 1b)
81. b、 c (8 : 10a、 8 : 10b、 16 : 6b)
82. c (6 : 4、 14 : 7、 13 : 2、 12 : 1)
83. c (14 : 8)
84. a (8 : 1a、 7 : 4)
85. a (12 : 1、 5 : 10)
86. b、 c、 d (2 : 8a、 13 : 2、 16 : 3d)
87. a、 c、 d (8 : 10a、 16 : 6b、 16 : 8、
16 : 11b)
88. b (16 : 1 注)
89. d (15 : 4、 15 : 9、 8 : 7c、 16 : 3d、
16 : 5、 16 : 6d)
90. a (8 : 3、 16 : 3b)
91. a (16 : 4)
92. b、 e、 (16 : 6b、 8 : 10)
93. a、 d (8 : 10a、 16 : 9d)
94. a、 b、 d (4 : 2、 8 : 9、 16 : 1b、
16 : 6b、 16 : 9c)
95. d (8 : 10a、 16 : 11b、 16 : 6a、 17 : 10)
96. c (16 : 11b)
97. a、 c、 d (16 : 10、 8 : 10a、 16 : 6b、
17 : 10)
98. b (16 : 10、 8 : 9、 16 : 6b)
99. c (16 : 11c)
100. a、 b (8 : 10a、 16 : 10、 16 : 6)
101. b、 d (17 : 6)
102. a (13 : 4a)
103. d、 e (17 : 10、 16 : 6、 8 : 5、
8 : 10a-d)
104. b (7 : 11、 解釈 4)
105. c、 d (13 : 4b、 解釈 2)
106. d (14 : 10、 16 : 1b)
107. a、 c (8 : 5、 16 : 6a、 13 : 1b)
108. c (7 : 10、 13 : 1a、 8 : 1c)
109. c、 e (18 : 1、 解釈 7.B.a)
110. c (13 : 5、 13 : 6 注、 8 : 8b、 16 : 3f)
111. a、 d (8 : 6b、 16 : 6a、 16 : 8、 13 : 3)
112. a (12 : 2)
113. b、 c、 d、 e (16 : 3e、 8 : 5a、 8 : 9d、
8 : 9a、 8 : 5)
114. a、 b、 d (8 : 6a、 16 : 6a、 2 : 8a、
17 : 2、 17 : 10)
115. a、 b、 d (8 : 3、 8 : 7c、 8 : 8b、
16 : 1b、 14 : 10、 16 : 3d)
116. a、 b (13 : 3、 15 : 1、 15 : 7)
117. b、 d (13 : 6、 8 : 10a、 16 : 6b、
解釈 7.B.b、 交代地域規程 5)
118. a、 d (13 : 4a、 解釈 7.B.a)
119. a、 b、 d (4 : 2、 13 : 1a)
120. c、 d、 e (8 : 7)
121. c (5 : 3、 5 : 6、 6 : 7b)
122. c (13 : 1a、 15 : 2)
123. a、 b、 d (8 : 5、 8 : 9f、 8 : 6)

124. a、 b、 e (10 : 3、 15 : 2、 15 : 3、
15 : 4)
125. a、 b、 c (15 : 9、 16 : 1b、 2 : 8、
解釈 2c、 8 : 7c)
126. a (7 : 1)
127. d (5 : 3、 5 : 6、 15 : 7)
128. c、 d (12 : 2)
129. b (14 : 7、 13 : 1a、 15 : 7)
130. b、 c (4 : 6、 9 : 1、 9 : 2、 16 : 3a)
131. b、 d (解釈 7.B、 交代地域規定 5)
132. b (10 : 3、 15 : 7 第 3 段落)
133. b、 c (14 : 1a、 解釈 6a、 16 : 1b、
8 : 7f)
134. b, d
135. b、 c (2 : 2)
136. d (17 : 9)
137. d (5 : 9、 6 : 1、 13 : 1a)
138. b (16 : 9b)
139. a、 c、 e、 f (2 : 8a、 8 : 7a、
16 : 3d)
140. b、 d、 e (2 : 10、 解釈 3)
141. b、 c、 d (7 : 11、 13 : 6、 13;6 注)
142. c、 d (8 : 2c、 14 : 1a、 解釈 6a)
143. a (7 : 12、 7 : 11、 解釈 4.B.B2)
144. a、 b (解釈 4.C)
145. c、 d、 f (8 : 10、 16 : 6b)
146. c、 f (8 : 5 注、 14 : 1a、 16 : 6a)
147. a、 c、 d (2 : 2 注、 16 : 5、 16 : 6b、
16 : 10)
148. c (2 : 3、 2 : 4、 11 : 1)
149. a (9 : 1、 15 : 2)
150. b、 c (2 : 2 注、 16 : 5)
151. c (15 : 2、 15 : 7)
152. b、 f (2 : 7、 13 : 4b)
153. b、 e (2 : 7、 13 : 4a)
154. c、 d (2 : 8、 8 : 7a、 8 : 10a、 16 : 6b、
16 : 8、 交代地域規定 5)
155. a、 e (2 : 4、 2 : 5、 4 : 5)
156. b (5 : 3、 7 : 6、 13 : 6、 15 : 1)
157. b、 c、 d (解釈 4)
158. b、 d、 e (12 : 2、 15 : 4、 15 : 9、
16 : 1b、 16 : 3d、 8 : 7c)
159. b (2 : 2 注、 16 : 5)
160. b (16 : 9a、 8 : 7a、 16 : 3d)
161. a、 b、 c (6 : 2a、 12 : 1)
162. b、 c (2 : 3、 14 : 1b、 解釈 6a)
163. c (10 : 3)
164. b、 d (6 : 5、 解釈 3)
165. d (7 : 11、 7 : 12、 解釈 4.B.B1)
166. a、 c (6 : 5、 8 : 2、 8 : 3、 12 : 1)
167. c (4 : 11)
168. b (7 : 12)
169. a、 c、 d (10 : 3)
170. d (4 : 2、 16 : 3e)
171. c (8 : 7a、 16 : 3d)
172. a、 c (2 : 8、 解釈 2)
173. d (解釈 3)
174. b (6 : 7b)
175. c、 d (8 : 10a、 16 : 6b)
176. c、 d (17 : 7)
177. a、 b、 c、 d、 e (16 : 9)
178. a (5 : 7、 5 : 8)
179. b、 c、 d、 e (7 : 11、 解釈 4)
180. a (14 : 3、 14 : 5、 14 : 8、 14 : 9)
181. a、 b、 c、 d、 e (2 : 8)
182. b (7 : 1、 7 : 6)
183. b (16 : 3a、 16 : 6d、 16 : 9d)
184. a、 c (6 : 2c、 14 : 1a、 8 : 7f、
16 : 3d)
185. e (2 : 3、 2 : 4、 15 : 5b)

186. a (12 : 2、 15 : 2)
187. b、 d (14 : 1c、 解釈 2a)
188. b (16 : 1 注、 16 : 3d)
189. a (2 : 8、 解釈 3、 2 : 10)
190. b (16 : 3d、 交代地域規程 5-6)
191. b (6 : 5)
192. a (15 : 2、 15 : 7)
193. b、 c (4 : 5、 6 : 5 第 1 段落、 16 : 3a)
194. b (13 : 7、 15 : 1、 15 : 5b)
195. d (2 : 5)
196. a、 c、 d (2 : 5、 13 : 8)
197. b、 c、 e、 f (2 : 9、 2 : 9 注、 13 : 4a、
解釈 3、 15 : 5b)
198. a (13 : 2、 15 : 7 第 2 段落)
199. a、 b、 d (2 : 8、 8 : 4b、 9 : 1、
10 : 2、 16 : 3c)
200. c、 e (8 : 5 注、 16 : 6a、 14 : 1a、
解釈 6c)
- S201. b、 c (4 : 6)
202. b、 d、 e、 f (4 : 3、 9 : 1)
203. a、 b、 e、 f (8 : 9a.d、 8 : 10a)
204. a、 b、 c、 f (4 : 6、 16 : 3)
205. b、 d (4 : 6、 16 : 3a)
206. c (競技規則解釈 7a)
207. c (2 : 8、 16 : 10、 競技規則解釈 7b)
208. a、 b、 d (競技規則解釈 3)
209. c、 d (競技規則解釈 3)
210. b
211. b、 d
212. b、 d
213. a、 d
214. b、 d
215. d
216. a
217. a、 c
218. b
219. c